



ノーブラで出歩き男を誘う寂
しいセックスレス妻・栄子





第1話
人妻と初めての淫猥



あ…
す、すごい…



ほら、俺のチ○チン
さつきより大きく
なってるでしょ？



あ！
ち、乳首は
ダメえ…！



あなたの胸が
こうさせたんですよ？







おっかえりー
遅かったわねえ



誰もいないけど
ただいまー



ってうわ!!
叔母さん、また勝手に
人の部屋入るなよ!



いいじゃない別にー
このマンション、
旦那と私の所有物なんだし



いや、それ理由に
ならないって…



それに、このマンションの
管理人は俺だろ？

そんな頻繁に来てちや、
俺に任せた意味
ないじゃないか…



そうよー。だから
ちゃんと役に立ってね？
雇われ管理人さん？



棒読みなのが気になるけど、
まあいいわ…



はいはい
分かりましたー



…はい？

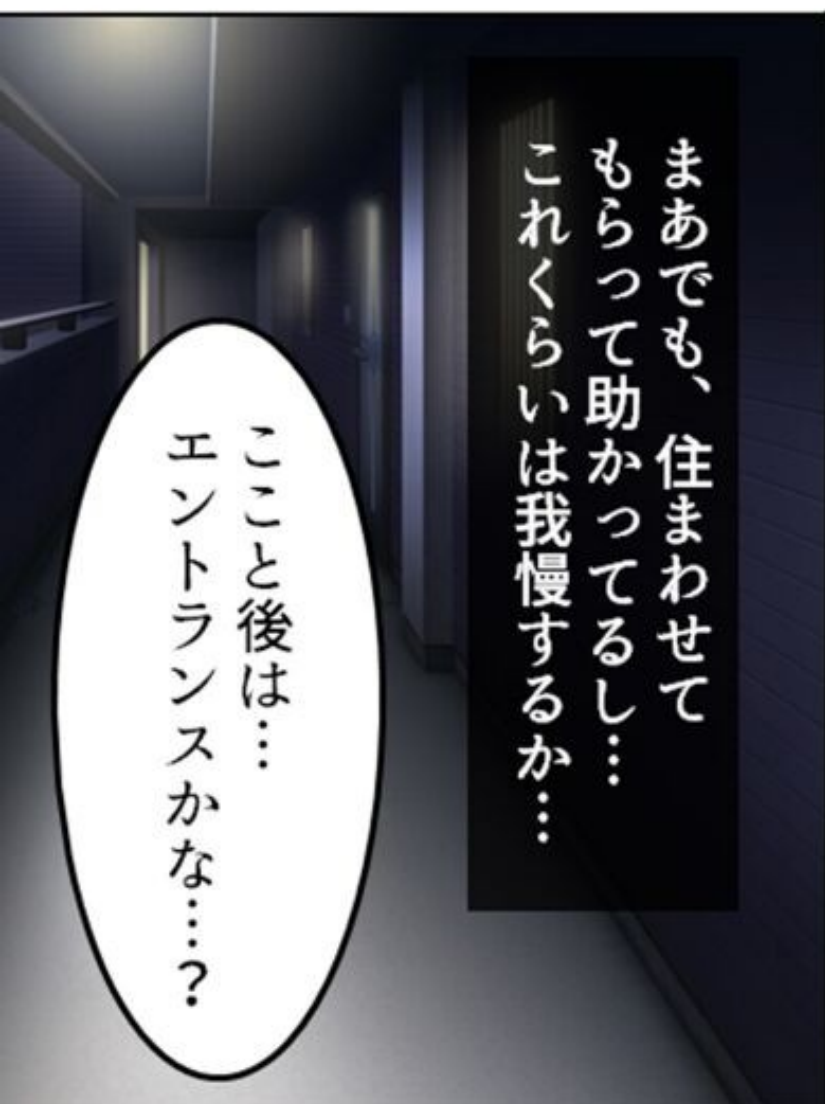


じゃ、今日からマンションの
見回りもお願いね

最近、何かと物騒じゃない？
変質者も出てるみたいだし…

かといって、旦那や私が
見回りじゃ、心許ないわ







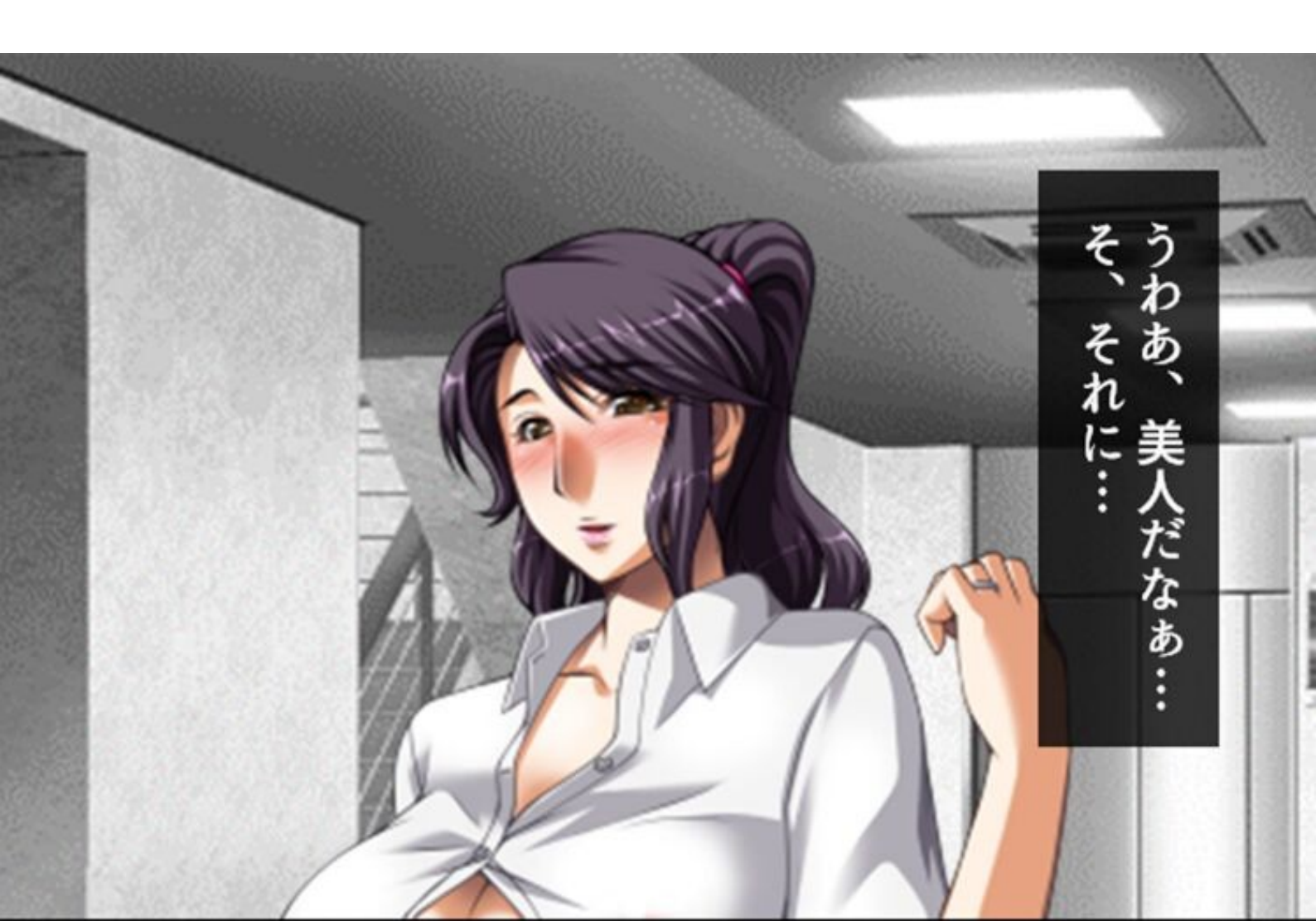
ん？誰かいる…？



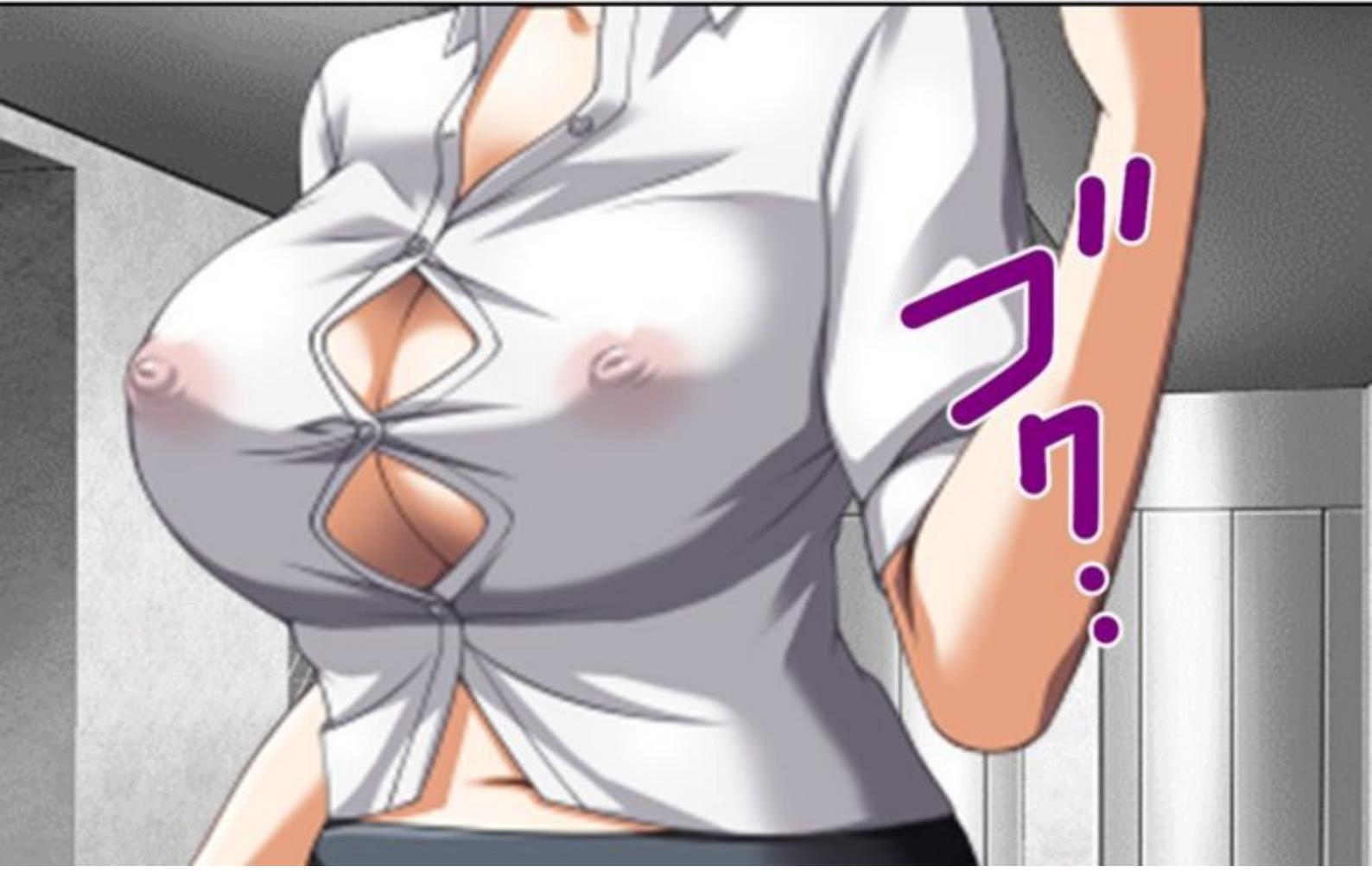
は、はい！
こんばんは！



あら…
こんばんは

A woman with long, dark purple hair tied in a ponytail with a pink hair tie. She is wearing a white button-down shirt that is open at the collar and has a small knot tied at the waist. She is looking slightly to her left with a soft expression. The background is a modern interior with grey walls and a ceiling light.

うわあ、美人だなあ…
そ、それに…

A close-up view of the woman's chest area. The white shirt is open, revealing her large, light-skinned breasts. The knot at the waist is visible. The background is a blurred grey wall.

フクッ



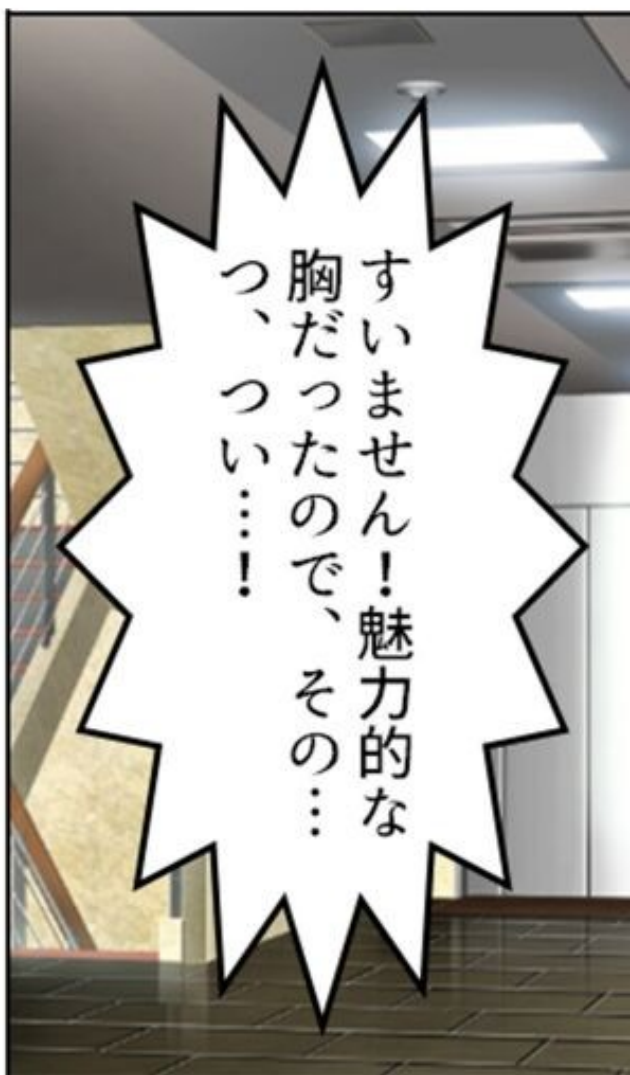


って、あああああ！
俺の息子が！！



って俺は何を言ってるんだ！？

これじゃまるで、
俺の方が変質者じゃないか！



すいません！魅力的な
胸だったので、その…
っ、つい…！





そんな！？
男ならみんな食い付きそうな
胸なのに…

ぽよんっ



…主人にもね



からかわれはしても、
褒められたことは
ないわよ…



結婚して7年も経つのに
子供はいない：
なのに、主人から求められる
ことはほとんどなくて：



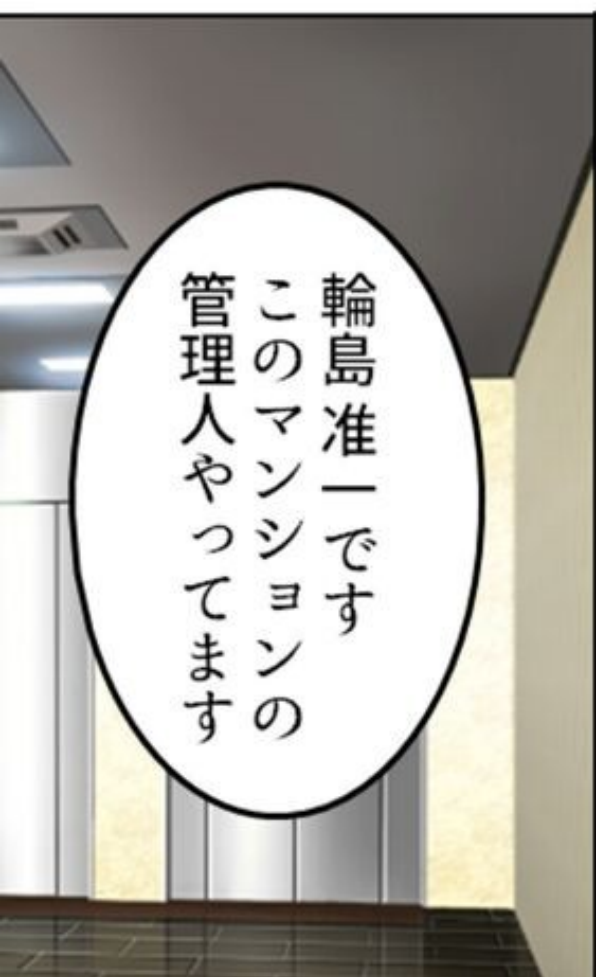
今じゃ、立派なセツ○スレス：
もう、女としての魅力なんて、
私にはないわ：



あなたは美人だし、
とても魅力的だ！
少なくとも、俺は
すごく好みですよ！



そんなこと、
絶対ありません！！



輪島准一です
このマンションの
管理人やってます



…ありがとう
優しいのね、えっと…



じゃあ、若い管理人さん
そろそろ行くわね…
おやすみなさい



私は、六〇八号室の
富士野 栄子



あっ……

そう言つて、エレベーターに
向かう栄子さんの背中…
なんだかとても悲しげだった

気丈に振舞ってるけど、本当は
寂しいに違いない…



きっと夜な夜な、その熟れた体を
持て余して…!!

きゃあ!?

グダ
ン
ッ!

気付いたら俺は、人がまず通らない
踊り場に来ていた…

頭ではまずいと分かってても…
もう、止まらない!

栄子さん!!

ドサ

きゃあっ!!
じゅ、准一くん!?



予想通り、欲求不満だった
栄子さんは、ほとんど抵抗せず…

こうして、
今に至るといふわけだ…

あん…
准一くん…!!



栄子さん…
おっぱい、しゃぶっても
いいですか…?



栄子さんは、一瞬躊躇した
様子だったけど…



そ、それは…



いいわ…准一くん…

ドキッ!

ああ…
もう、たまらない！

ド
サッ





ぷ
っ
く
り

栄子さん…
乳首が、もうこんな
なってますよ…



さ
わ

さ
わ

ここが、さつきより
大きくなってる…



准一くんだって…







第2話
巨乳妻のパイズリ



栄子さん…



准一くん…
もっと、気持ちよくなって…











ああ…だ、ダメだ…
もう、限界だ!!



ああん!
吸っっちゃダメえ!



栄子さん…
俺、もう…!!



彼女は時間を確認すると、
乱れた服装をさっと整える…

それは、栄子さんの
携帯のアラームだった





あ…
そ、そうですよね…



ごめんなさい
そろそろ、主人が…



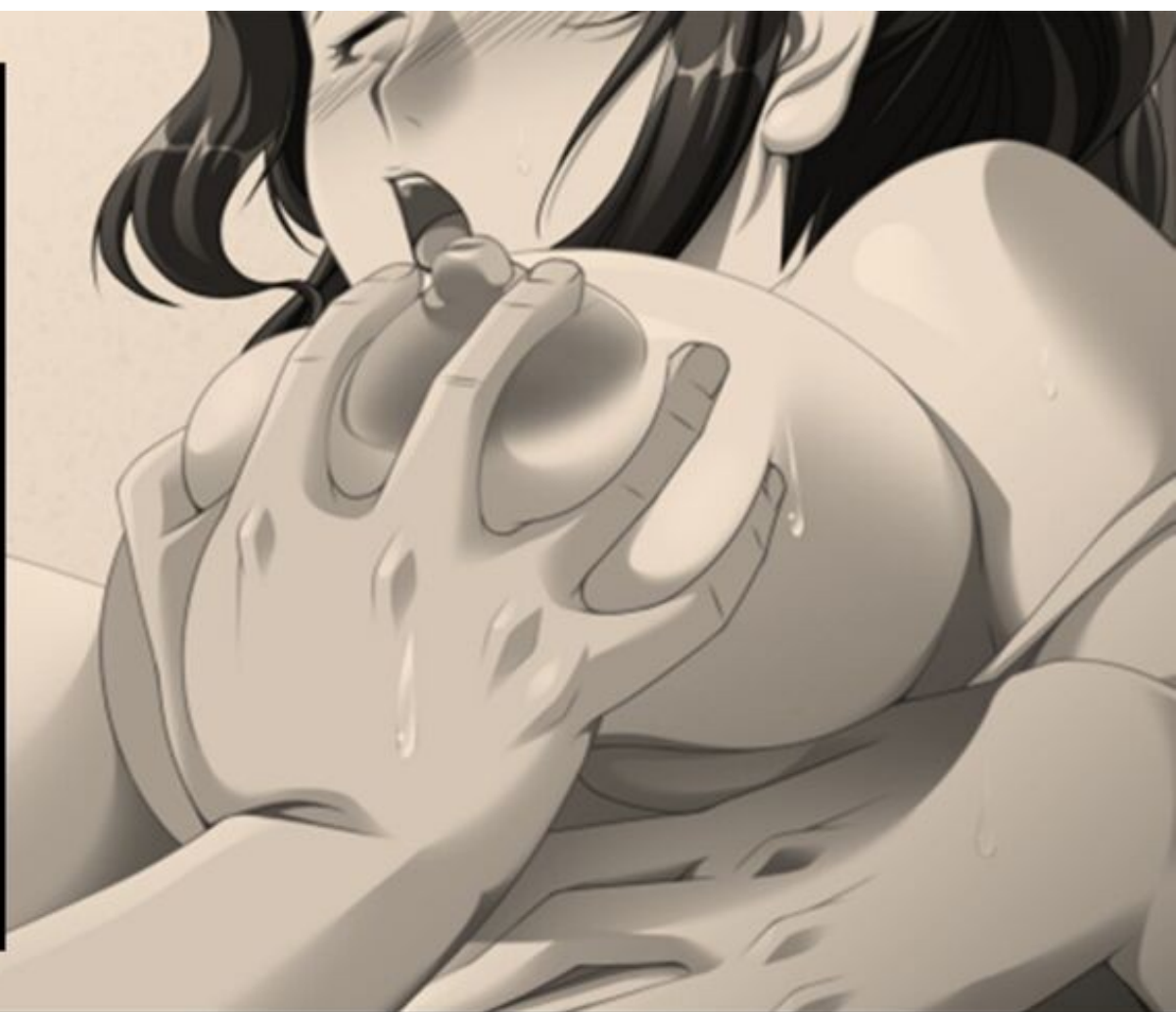
こんなところで
お預けなんて、
いくらなんでもあんまりだ！

ぼっまん
ぼっまん



くそっ！
なんてタイミングで
帰ってくるんだ！！

どうせ、この胸に
貪りつくことなく
さっさと寝ちまうくせに……!



准一くん…
あの、明日も
会えないかしら?





えっ？
今なんて…

私ばかり気持ち良くなって…
こんなの、不公平でしょ？



それに、あんなに体が疼いたの、
本当に久しぶりなの…



だから…准一君の
迷惑じゃなければ…



迷惑なんて！
俺も会いたいです！
会って…もっと続きを
楽しみたいです！





未だに夢のようで、
実感が湧かない…
だが、俺は確かに
あの胸に触れたのだ！



翌日…

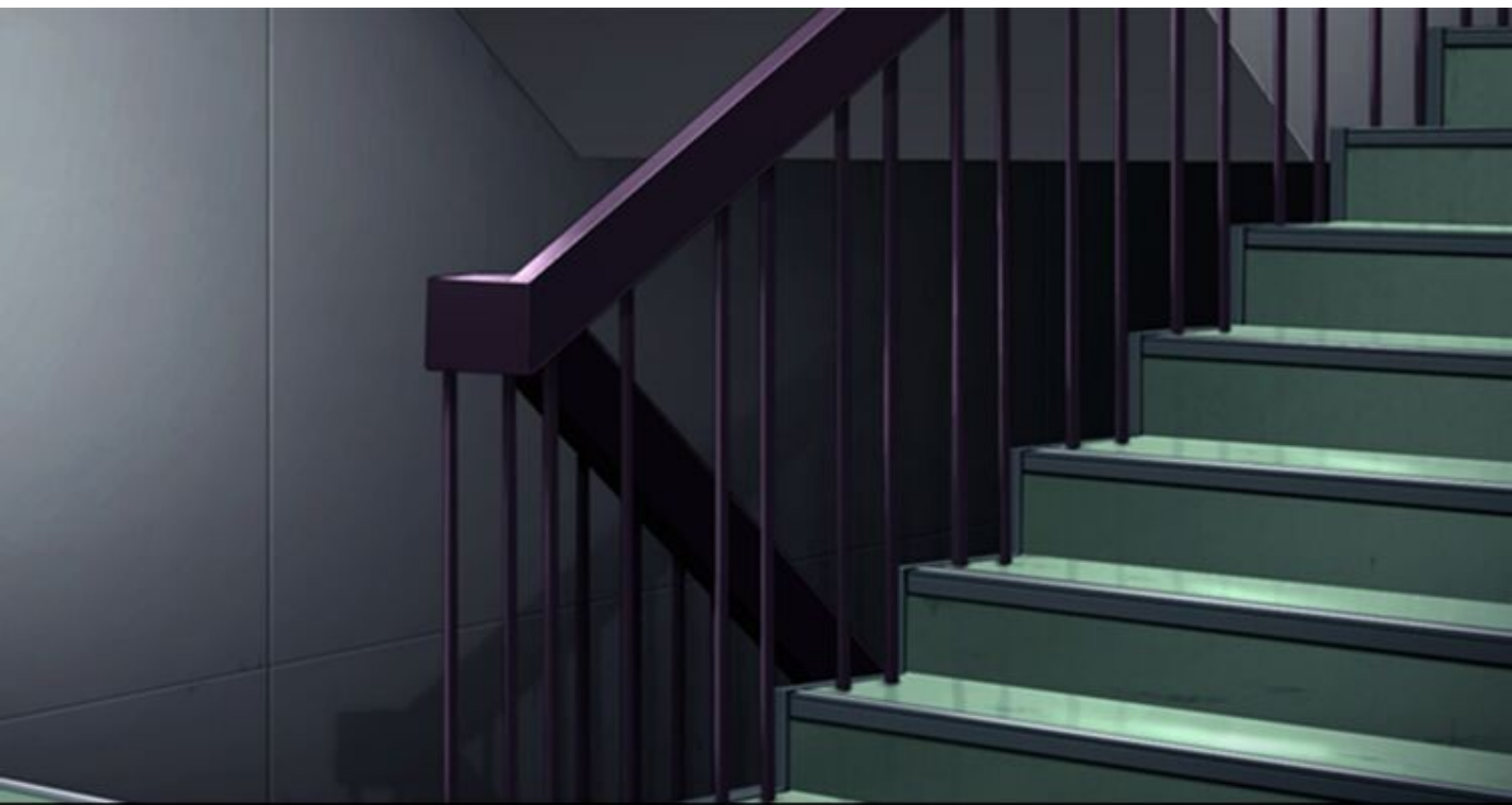
はあ…
昨日は何回
抜いたんだろ…



おっと、
そろそろ時間だ！



ああ、早くまた
吸い付きたいなあ…



もちろんですよ！
どれだけ楽しみに
していたか……！



准一くん……
来てくれたのね



ねえ、今日は：
私の部屋に来ない？



ふふ、そう言っ
てくれて嬉しいわ



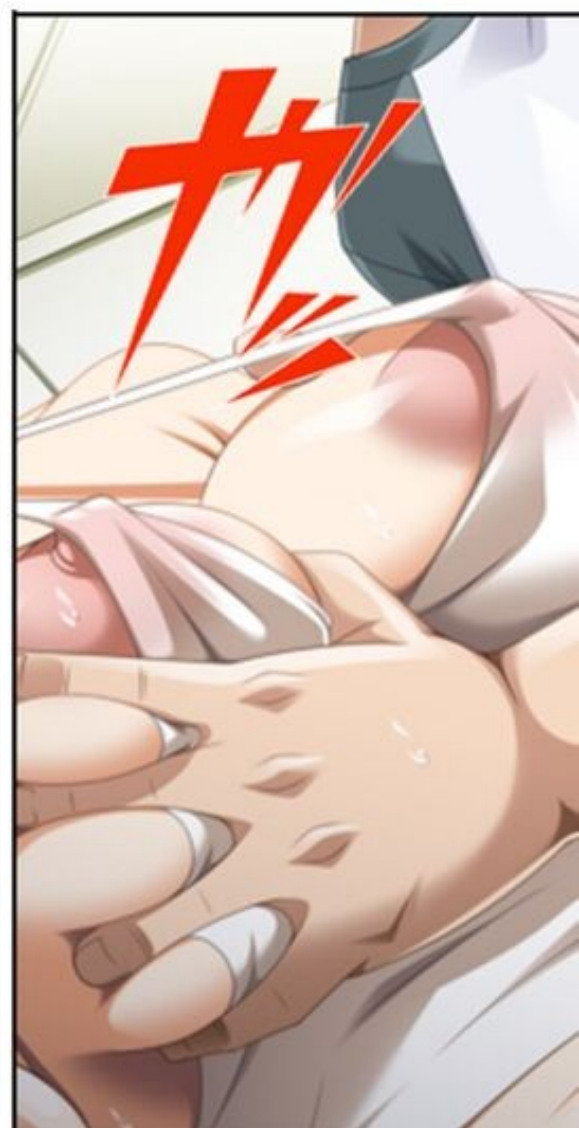
今日、主人は
帰りが遅いから



えっ？
でも…いいんですか？









こんなエロい
おっぱいしてるのが
いけないんですよ…



しかも感じ易いなんて、
最高じゃないですか！



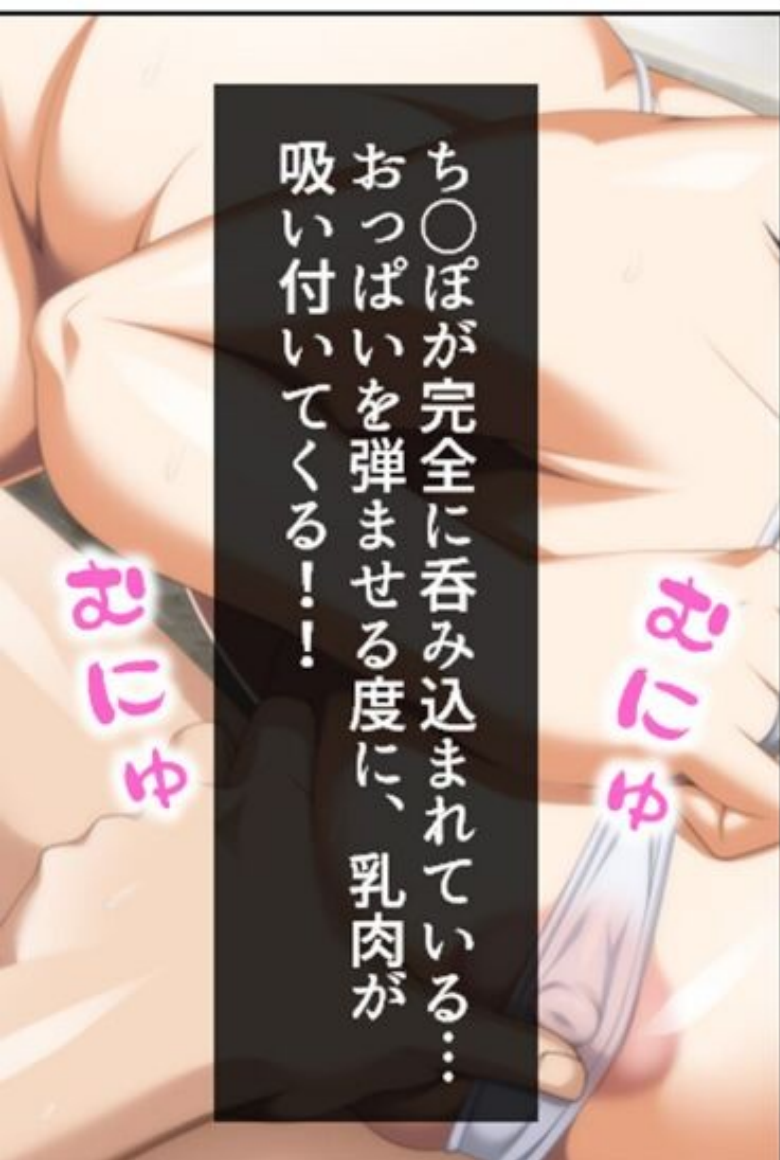
指が沈み込むくらい
柔らかくて…







どう、
気持ちいい？



ち○ぽが完全に吞み込まれている…
おっぱいを弾ませる度に、乳房が
吸い付いてくる!!!



おおおっ…
こ、これはたまらない！





え、栄子さん…!!
き、気持ち良すぎ…!!

ぺろ
ぺろ
ぷにゅ
おにゅ
ぱろ
れろ



うっ…
で、出る…!!
出ちやいます、栄子さん!

ぺろ
ぺろ
ぷにゅ
おにゅ



うん、出して…
准一くんのせーえき
見せて…

ぴちや
ぱろ



栄子さん…
イきます…!!



ど
ぴ
ゅ

ど
ぴ
ゅ
っ



ど
き

ど
き

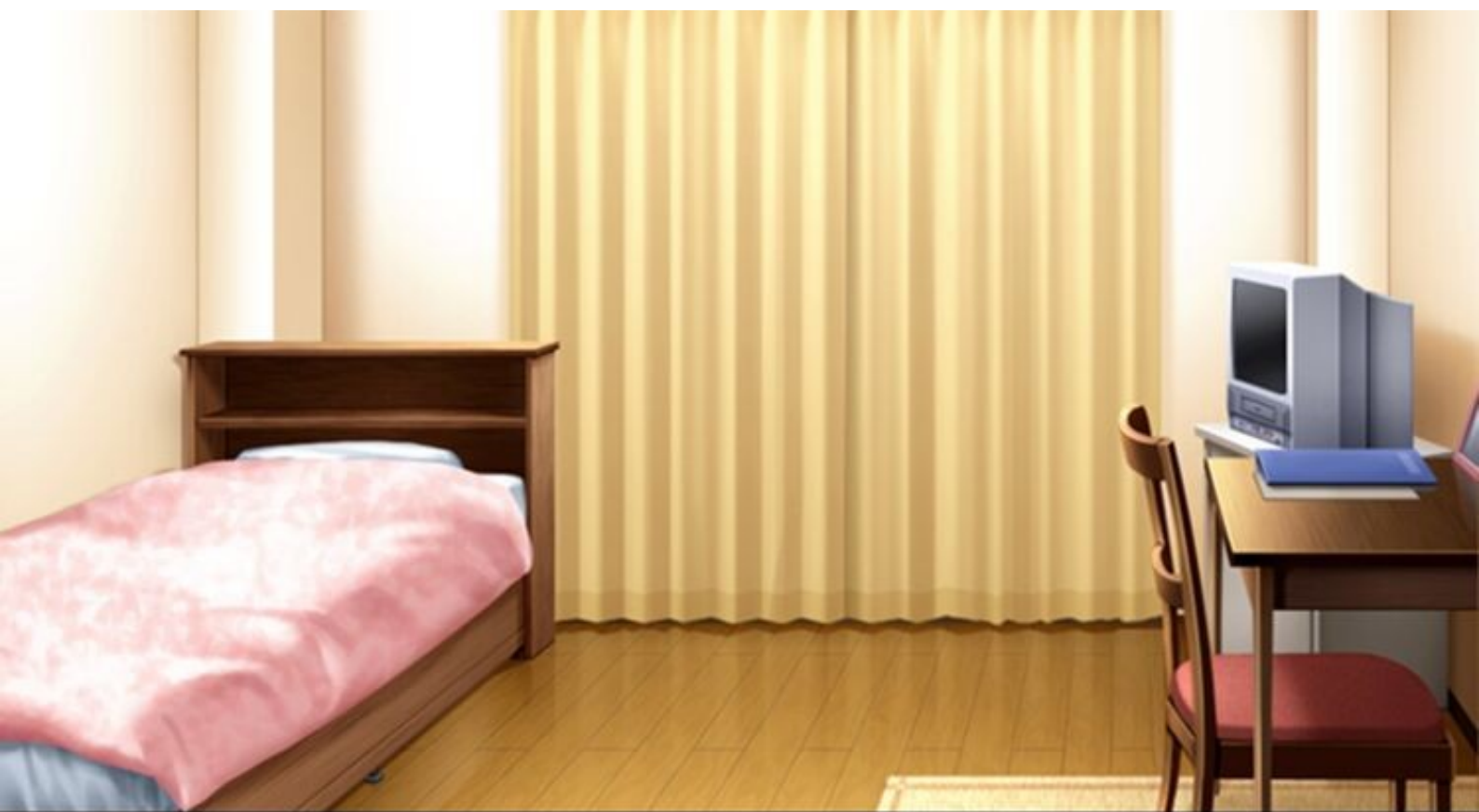
ど
ろ...

ああ...これが
准一くんの精液...

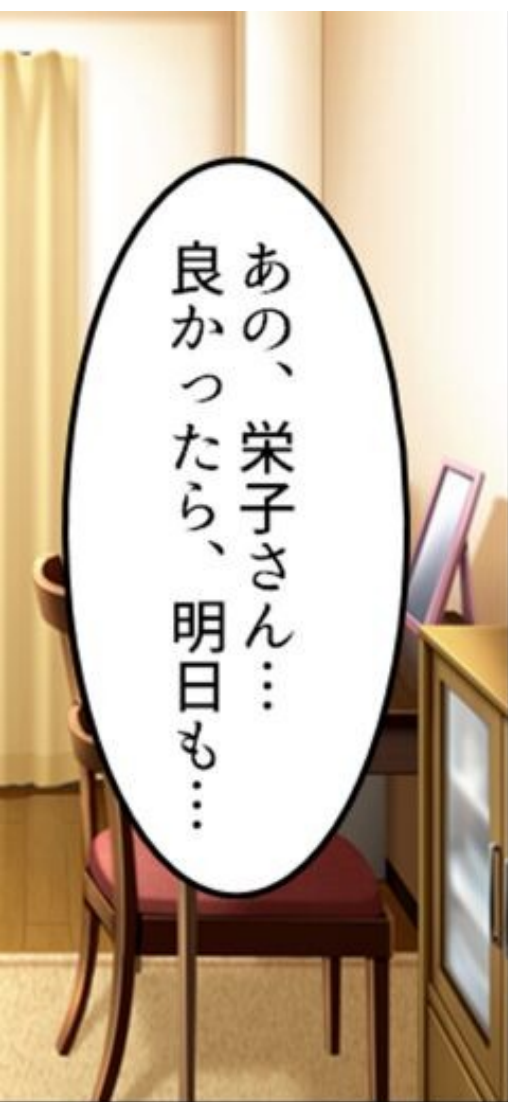


ん
ん
っ...!

ど
ぴ
ゅ
っ
ど
ぴ
ゅ
っ



栄子さん、
すごく
気持ちよかったです



あの、栄子さん…
良かったら、明日も…



私も…
こんなの久しぶり…



なら…
買い物に付き合っ
てくれないかしら？





第3話
人妻の淫らな水着



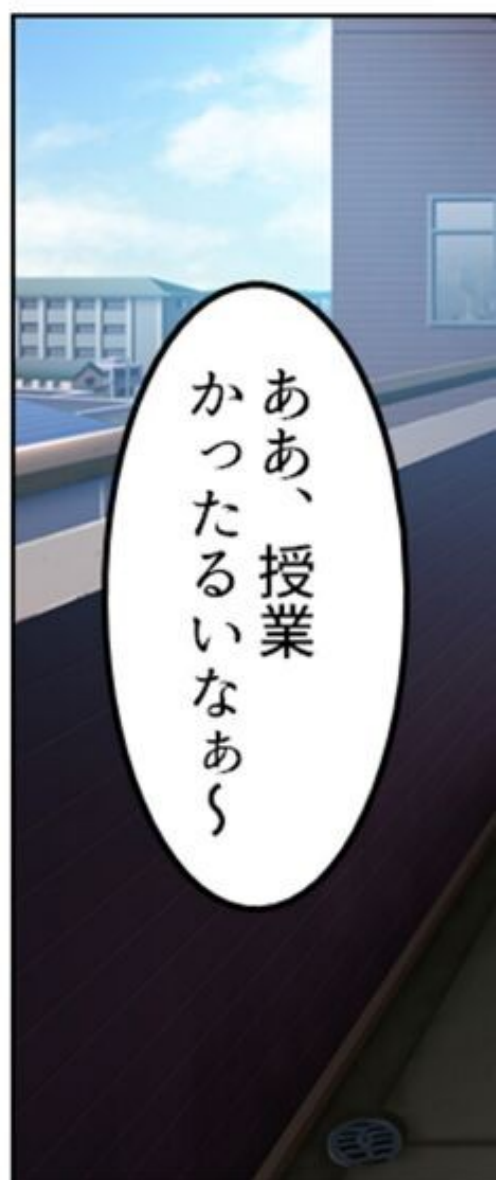
あの、栄子さん…
良かったら、明日も…

なら…
買い物に付き合っ
てくれないかしら？



水着を買い
たいの…
准一くん、
一緒に選
んで？







あ…

栄子さんと、朝方
出くわすのは初めてだった

そのせいか、なんかこう…
妙に緊張してしまう



おはようございます
ます



あ…
お、おはよう
ございます…

栄子さんの態度は、
他人行儀で素っ気無い
ものだった



そりゃそうだ…
俺達是不倫の関係。
外では、あくまで他人として
振舞わなくてはならない…

でも、足早に去っていく
彼女の背中に、俺は
不安を感じていた。

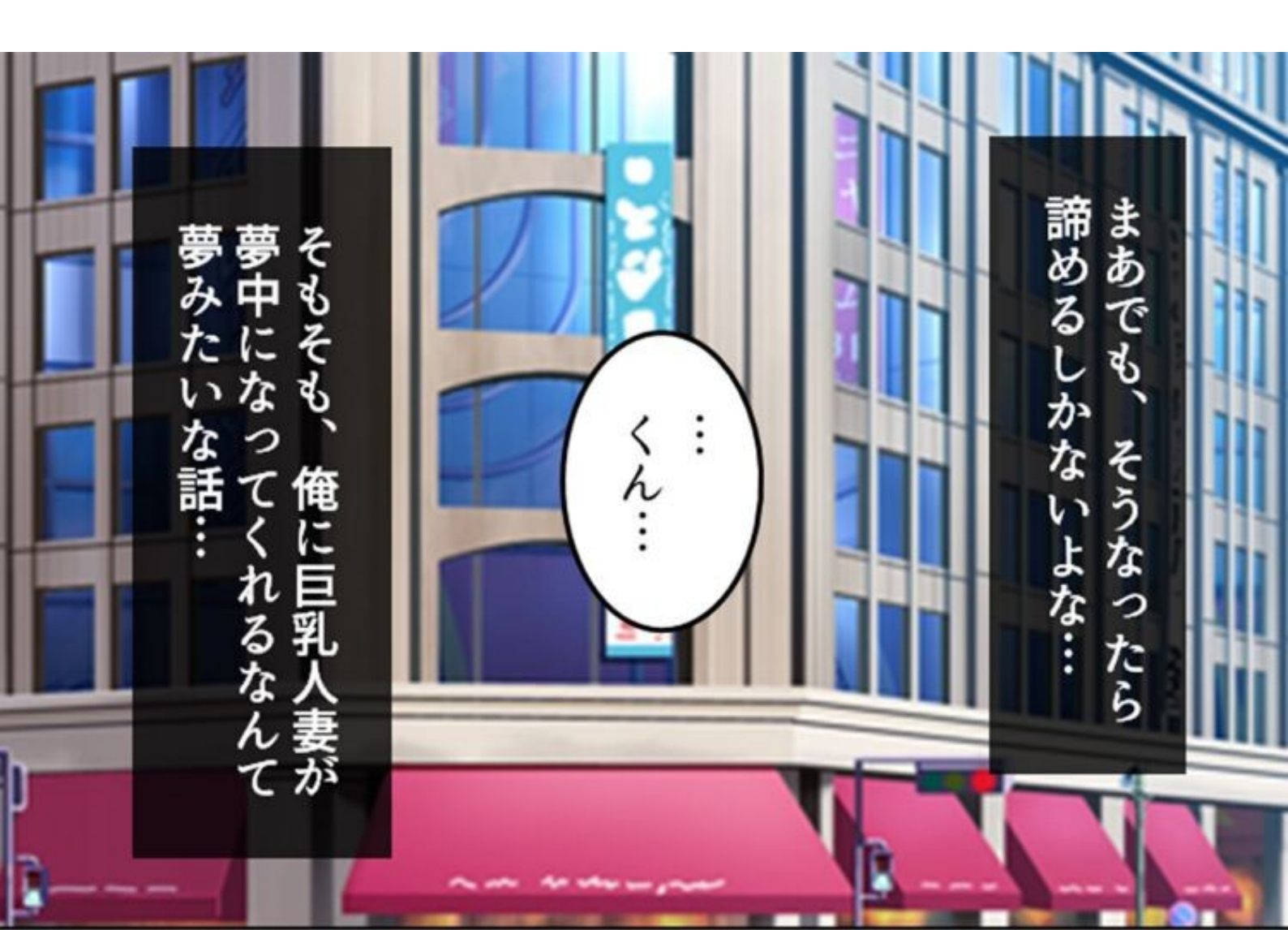


ひよつとしたら、栄子さんは
このまま…俺から離れて
しまうんじゃないだろうか？

何もなかったことにして…
元の生活に、
戻りたがってるんじゃないか？



こうやって待ってても
来なかったりして…
はは…



まあでも、そうなったら
諦めるしかないよな…

…
くん…

そもそも、俺に巨乳人妻が
夢中になってくれるなんて
夢みたいな話…



准一くん！

わっ！
え、栄子さん…!!？



もう！呼んでも返事がないから、無視されたかと思っただじゃない：



栄子さんのこと、無視するわけないじゃないですか！



…
栄子さん…？



でも…



あんな、素っ気無い
態度を取ってしまったて…



あの…今朝は
ごめんなさい…



本当は、ちゃんと話したかった
でも、もし噂になつたりしたら
あなたに迷惑が掛かるから…

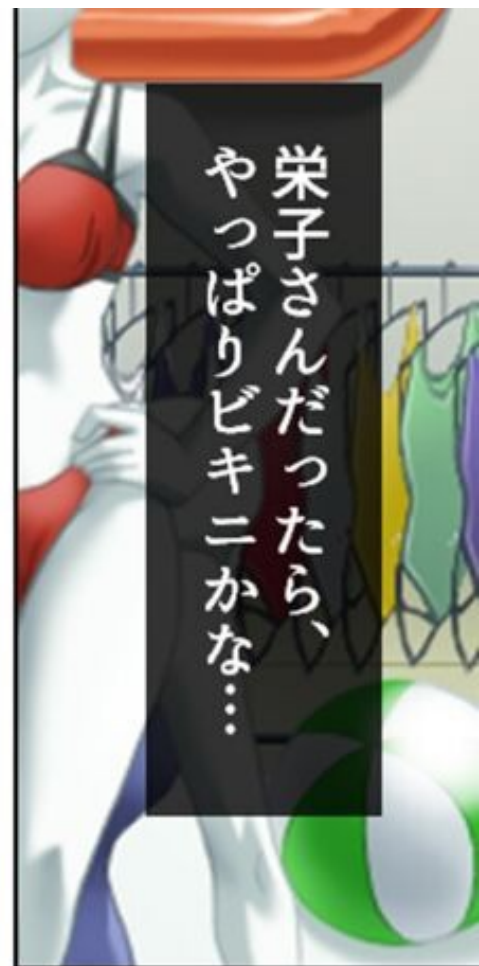
くそっ！俺はなんて
つまらないことで
悩んでたんだ！

この人は、俺のことを
考えてくれていたのに…！

栄子さん！俺は何も
気にしてませんよ！











着替えるから待っててと
言われたけど…

ズカ

ズカ

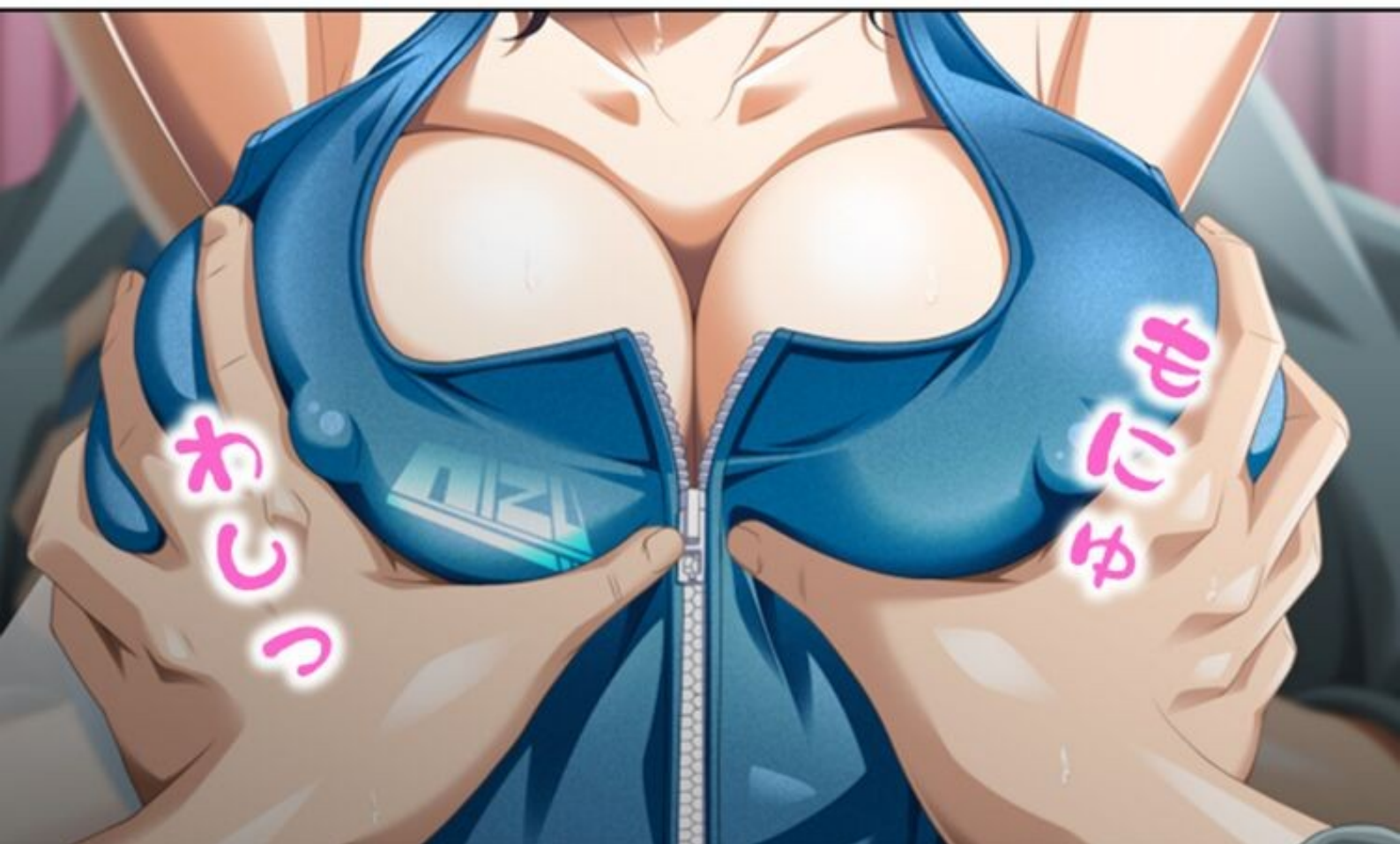
どんな水着を
買ったんだろうか…





脱衣所のドアを開け…
鏡の前に立っていたのは…

競泳水着を着た
栄子さんだった…





あ、だ、ダメよ
いきなり…!!



そんなこと言って、
本当は早くこうして
ほしかったんでしょ？

むにゅ

むにゅ



ち、違うわ…
そんなんじゃない…!



こんなむっちりした
水着選んだのも…
俺とエッチなこと
したかったからとか？

ぼろんっ



違うないでしょう？
栄子さんが淫乱なの
俺もう知ってるん
ですから…

くにっ

おにゅっ



ち、ちがつ！

はあっ

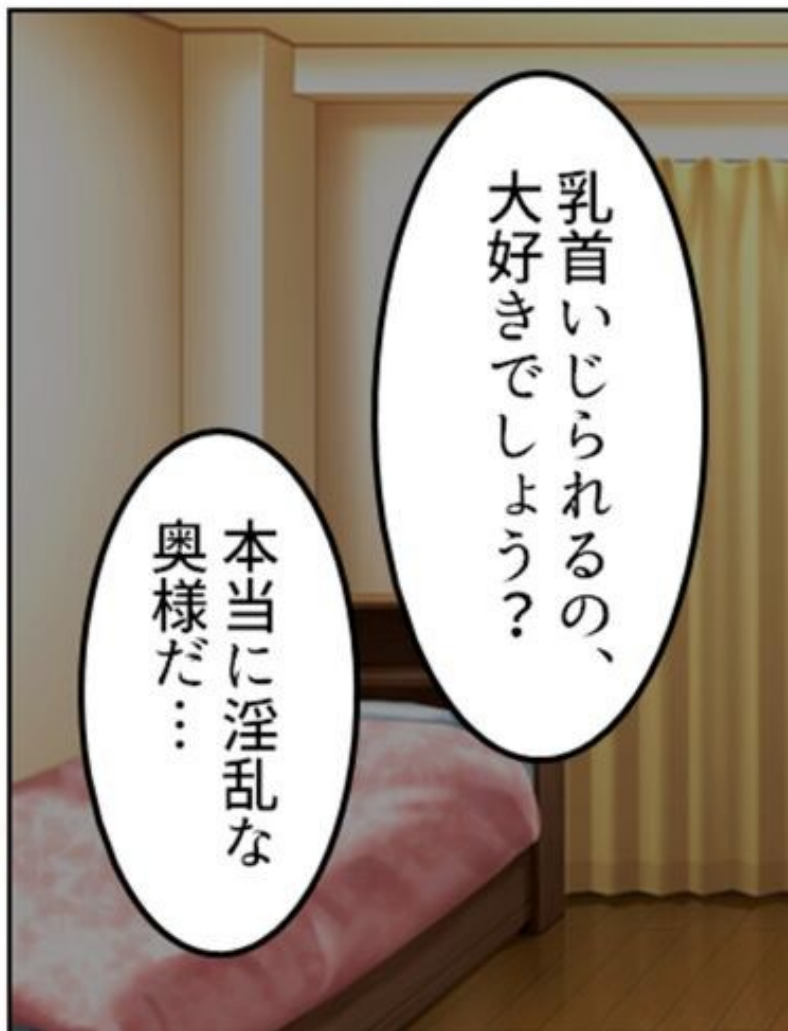
はあ



淫乱なんかじゃ…
あっ…



もう…
いじわるなんだから！



乳首いじられるの、
大好きでしょう？

本当に淫乱な
奥様だ…





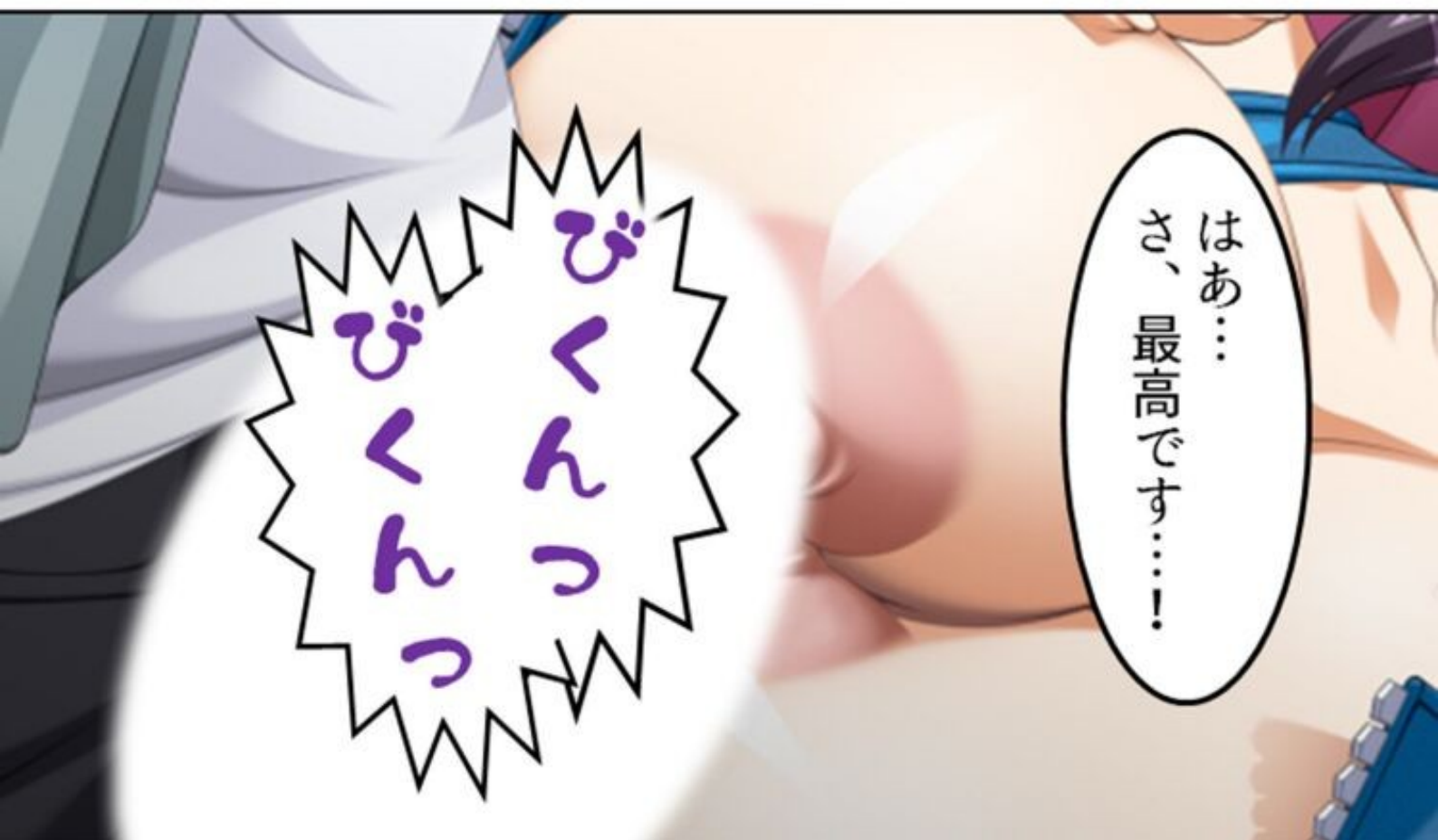
そんなイケナイこと
言う悪い子には…



おしおきしなきゃね？

ぐにゅっ

ぐにゅっ





あ、凄い…
ビクビクしてる…



ああっ…
もう出ます…!!
栄子さん…!!!

気持ち良いなら
遠慮なくイッちゃって?

ぢゅぢゅ
ぢゅぢゅ





第4話
淫らに貪る







汚くないですよ
すごく綺麗です…



あ、触っちゃダメ…!!
まだお風呂入ってないの…
汚いからっ…!!



栄子さんも、
入れてほしいでしょ?



俺…栄子さんの
オマ○コに入りたいです



淫乱なオマ○コが、
ぐちゅぐちゅにされたいって
言ってますよ？

ぐちゅ

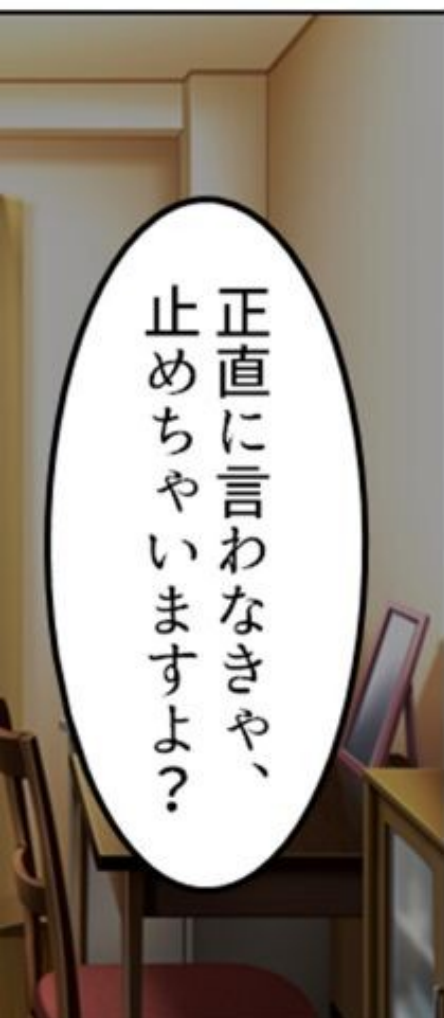
ぐちゅ



淫乱じゃないですか
大学生に乳首舐められて
感じたり…



あんっ…!!
い、淫乱じゃない…!!



正直に言わなきゃ、
止めちゃいますよ?



パイズリして
美味しそうに
精液飲んでた
くせに…

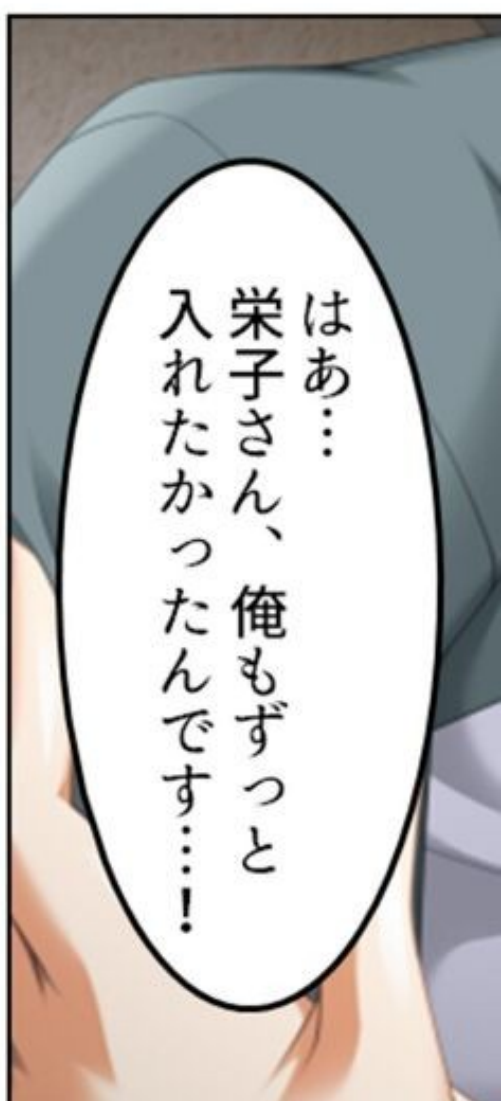




准一くんの
オチ○チン、早く
入れてください…!!



こうやって、おっぱい
ぺろぺろ舐めながら…



はあ…
栄子さん、俺もずっと
入れたかったんです…!!



俺のち○ぽを
奥までブチ込みたかった
んです！

ず
ぶ
ず
ぶ
っ



栄子さんの蜜穴が
広がって、俺のち○ぽを
飲み込んでいく…

肉壁が絡み付いて、
締め付けて…
メチャクチャ気持ちいい!



おっぱいも
捨てがたいけど…
オマ○コがこんなに
気持ちいいなんて…！



栄子さん…
ぬるぬるで
気持ちいいですよ…！



はぁ
はぁ…
はぁん、准一くんの
童貞チ○ポが、
入っちゃったあ…！



こうやって
吸うとどうかな……？

ちゅっ

ちゅっ



はんっ！
あっ……



締めがきつく
なりましたね……

びゅっ

おっぱい

おっぱい

ずぶっ



ビクソッ

ああんっ！





胸もオマ○コも
感じちゃって、
イヤらしいですね……！



引っ張られて
喜んでるじゃないですか



あ、あ……
ダメ、イツちやうう……！



おっぱいとオマ○コ
どっちも気持ち良すぎて
イツちやうのお…!!



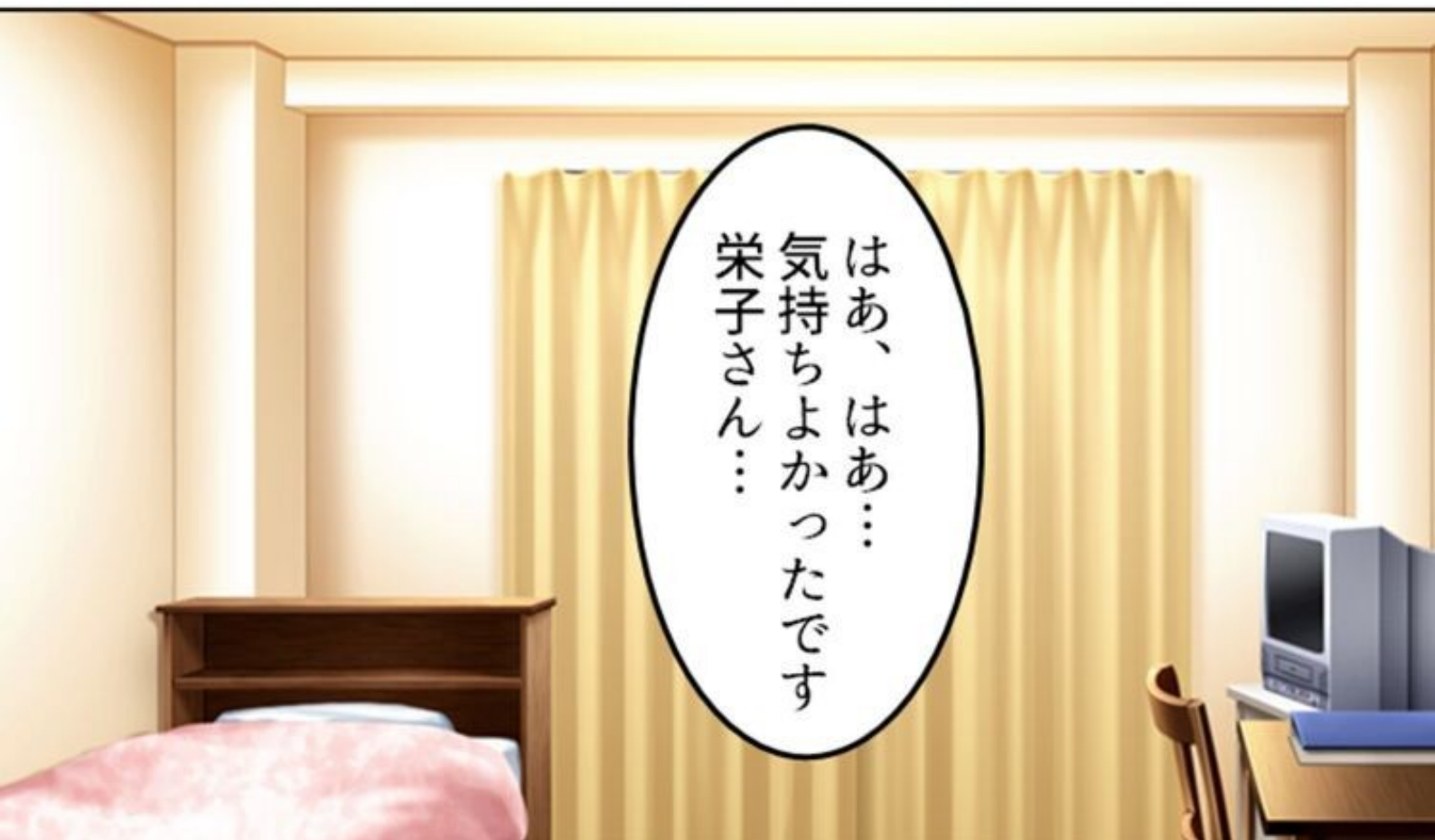
栄子さん!
中に、出しますよ…!!

あんっ! ああっ!!
出して、准一くんの…
中に出してえ!!





あ、出てる…
准一くんのが、
中にい…



はあ、はあ…
気持ちよかったです
栄子さん…



…でも、准一くん
本当に私で良かったの？



私も…
すごく、
気持ちよかった…



そんなこと
言わないでください
栄子さん！



こんなおばさんと…
こんな関係で…



俺は、栄子さんが好きで
こうしてるんですから！



ねえ、今度は…
どんな服を着てほしい？



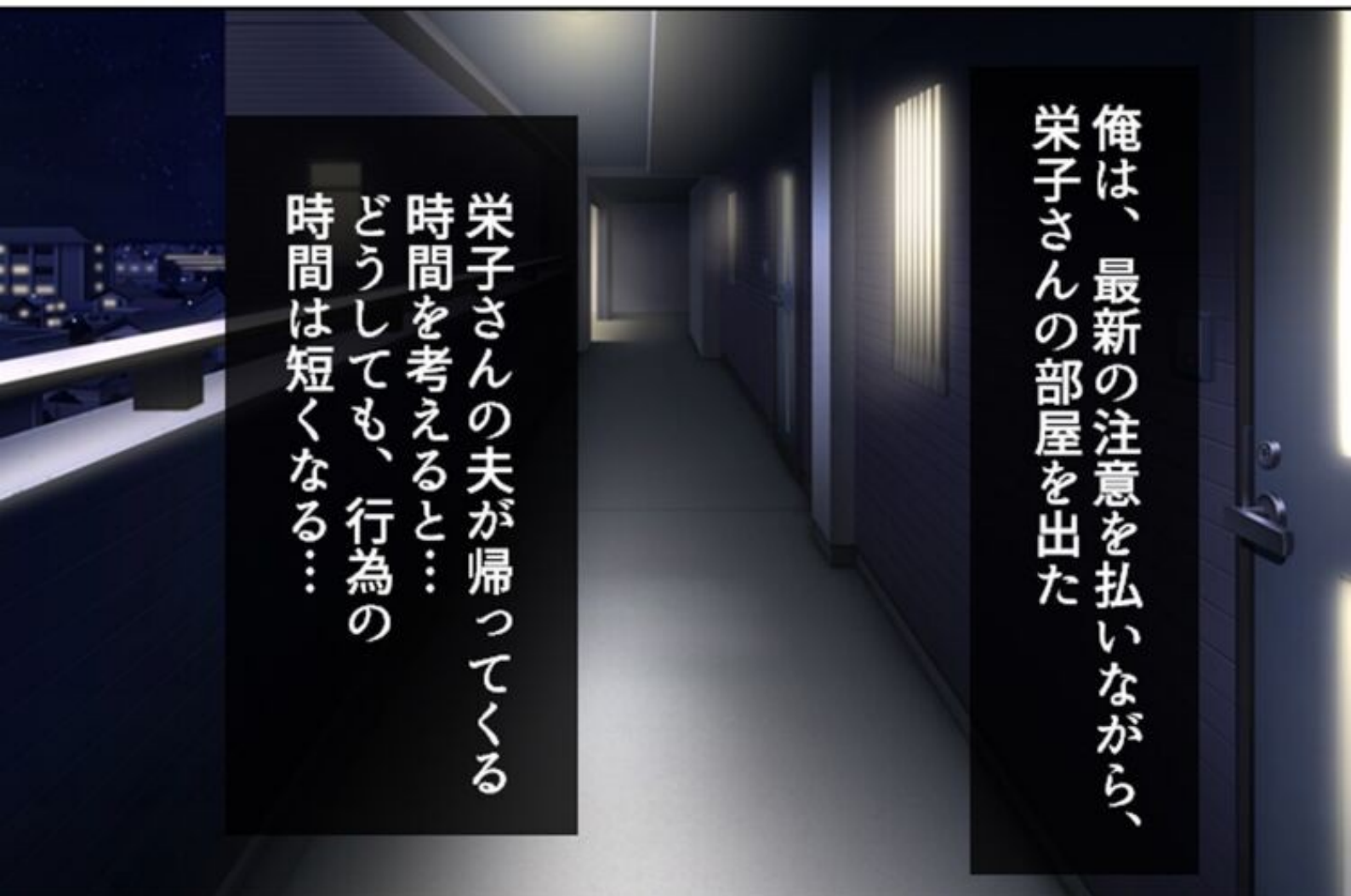
…うん、ありがとう
やっぱり素直で、
優しい子ね



もう、イケナイ子
なんだから…



今日より、もっと
エロいのがいいです！



俺は、最新の注意を払いながら、
栄子さんの部屋を出た

栄子さんの夫が帰ってくる
時間を考えると…
どうしても、行為の
時間は短くなる…

それに、これからも頻繁に
部屋を訪れるというわけにも
いかない

どこで目撃されて
噂になるか
分からないからだ…

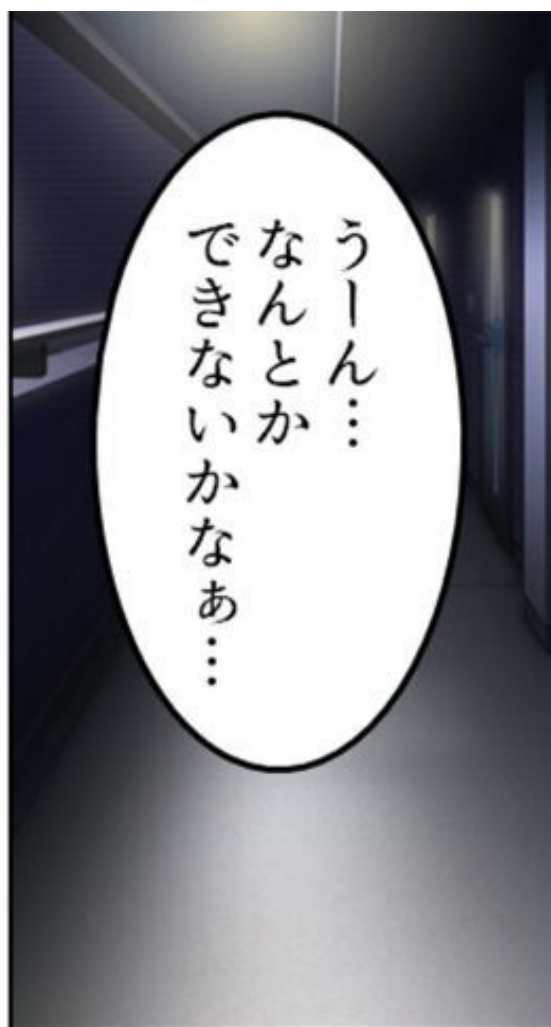
もしそれで、栄子さんの夫に
バレでもしたら…





ただいまー

ガブ
チャッ



うーん…
なんとか
できないかなあ…



おつかえりー
またもや
遅かったわねえ





あんだ、私が何も気付いて
ないとも思ってたの？



六〇八号室の
富士野 栄子さん…



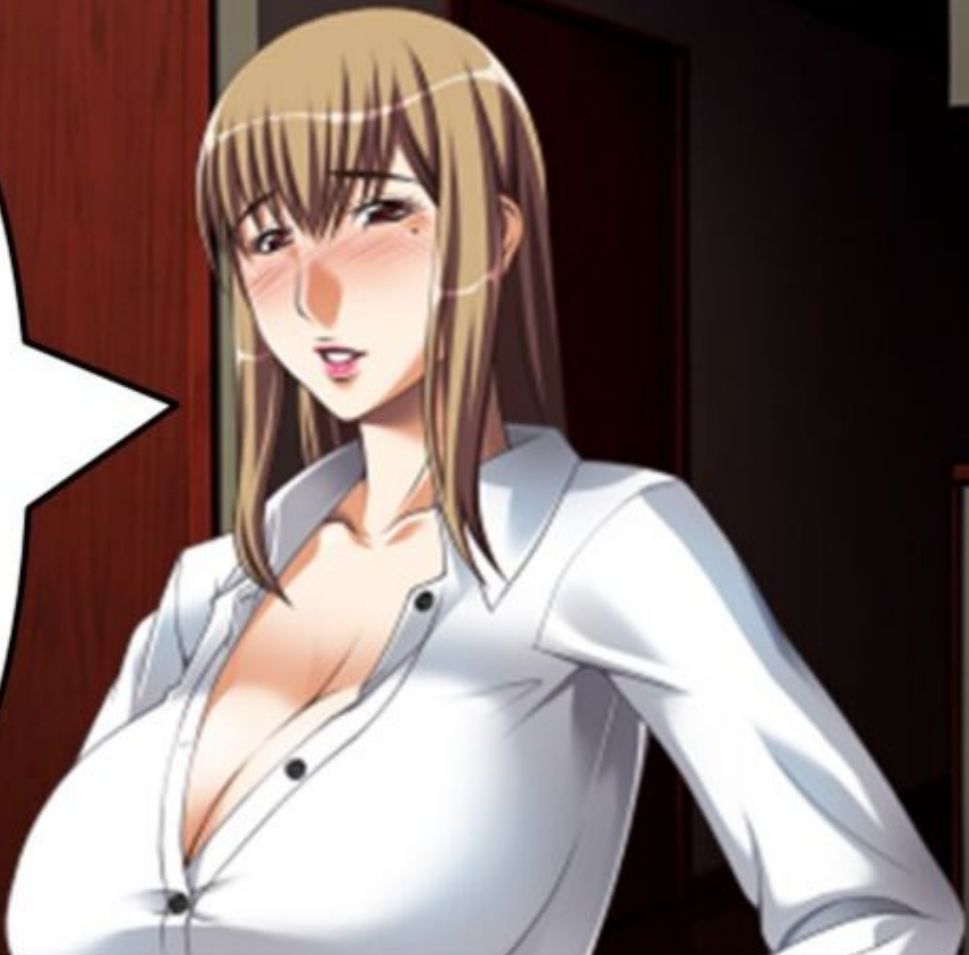
…えっ？

ドン!





第5話
捨てる神あれば拾う神あり？



あんた、私が何も気付いて
ないとも思ってたの？

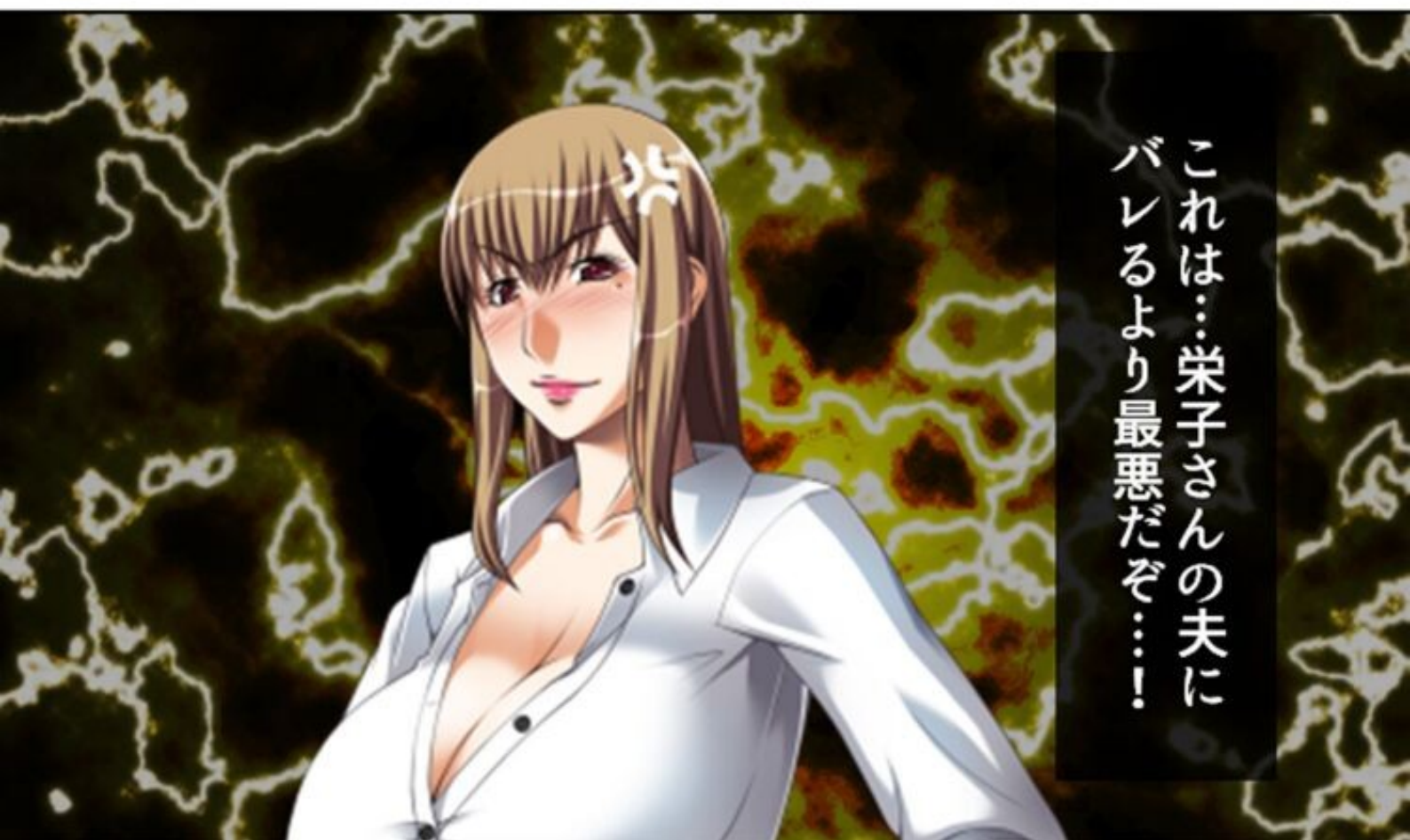


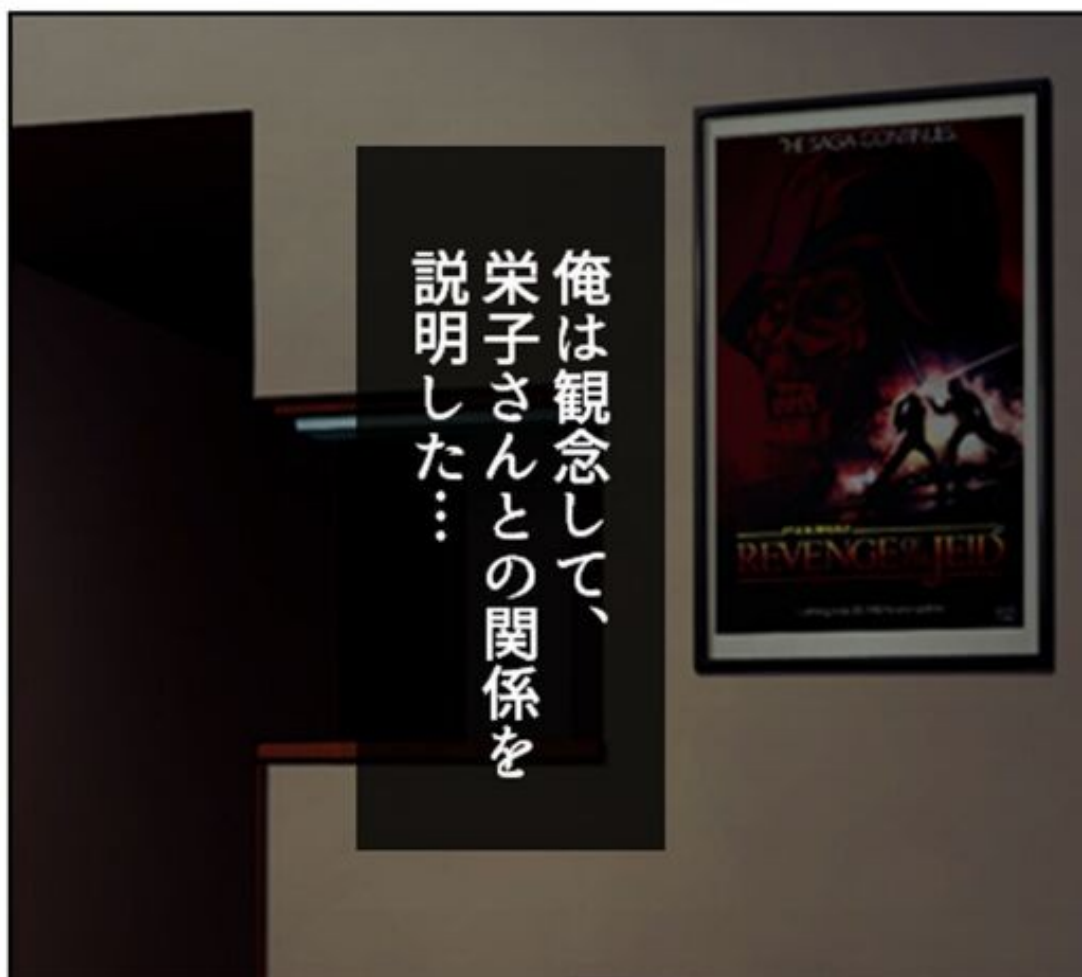
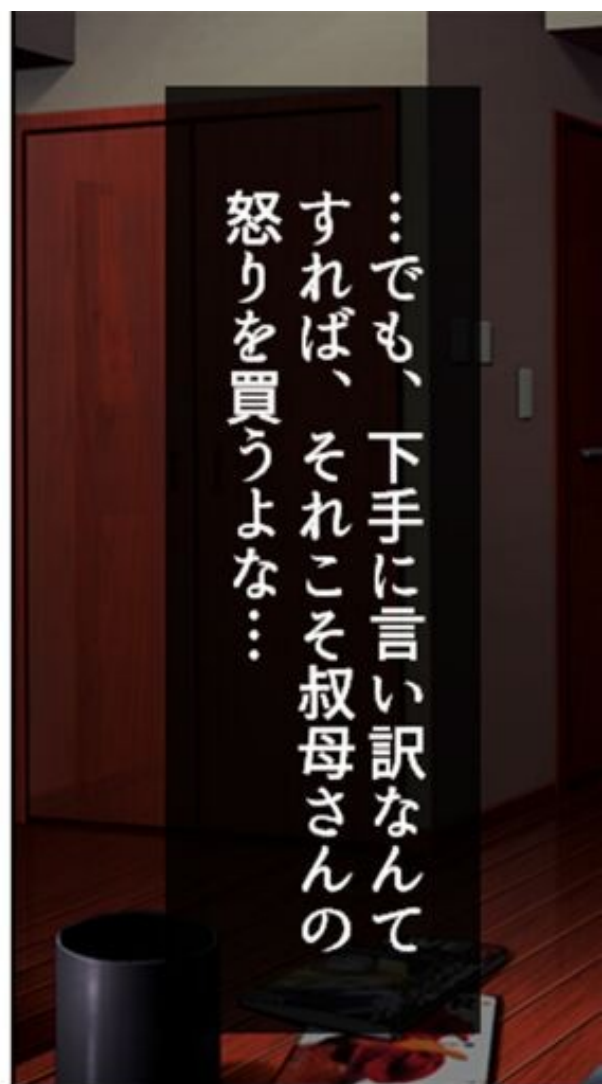
六〇八号室の
富士野 栄子さん…

ドカン！



…えっ？









はあ…もっと
賢い子だと
思ったんだけどねえ…



そ、それは違
います！！



ねえ、あんたは栄子さんの
こと、ただの性欲の捌け口
として見てるの？



まあ…あの巨乳に
惹かれたのは、
否定しないですけど…



それでも！
あの人が魅力的だと
思ったのは本当ですよ！



不倫の関係で言えること？
…って、人としては
言いたいとこだけど…
私の正直な感想を言うわ



頭の固い、仕事一筋の
真面目人間って感じで…
妻の気持ちなんて
ガン無視なのよ



だから同じ人妻として、
栄子さんは見てて
可哀想だったのよね







ふう…どうなる
ことかと思っただけど、
ひとまず一件落着か…



あと、今回だけは1つ
世話を焼いてあげるわ
はい、これ！



…なんですか、
この券？



高級ホテルの
宿泊券よ





そのぶら下げてるもの、
引きちぎるわよ？



…でももし、彼女の
気持ちを踏みにじる
ようなことしたら…



き、気を
付けます…！

がく

がく…

…ま、まあ、
何はともあれ…！

栄子さんと、
2人きりでホテル……！



ふふ……
楽しみだ……！

えっ？
ホテルの宿泊券？





旦那さん、3日後から
出張だって
言っていましたよね？



はい、良かったら
一緒に行きませんか？



喜んでくれてる
みたいだ！
良かったあ…



ええ、是非！！



服ですか…



じゃあ早速、
服を考えて
おかないとね…

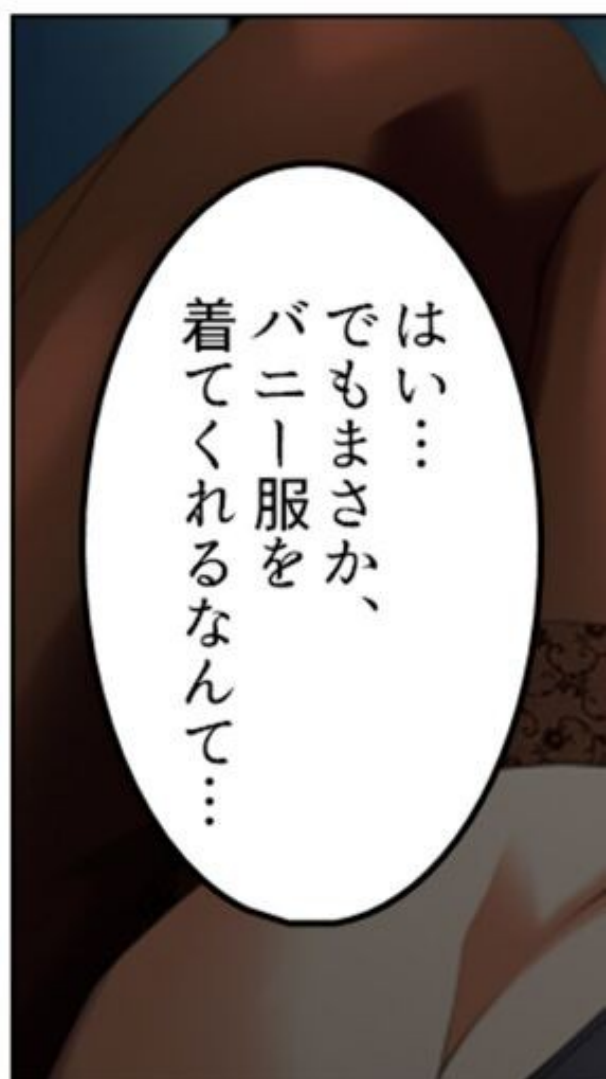


例えば、こんな服を
用意して
くれたりして…

もか〜ん…



そういえば、前に
エッチな服を
希望しておいたけど…



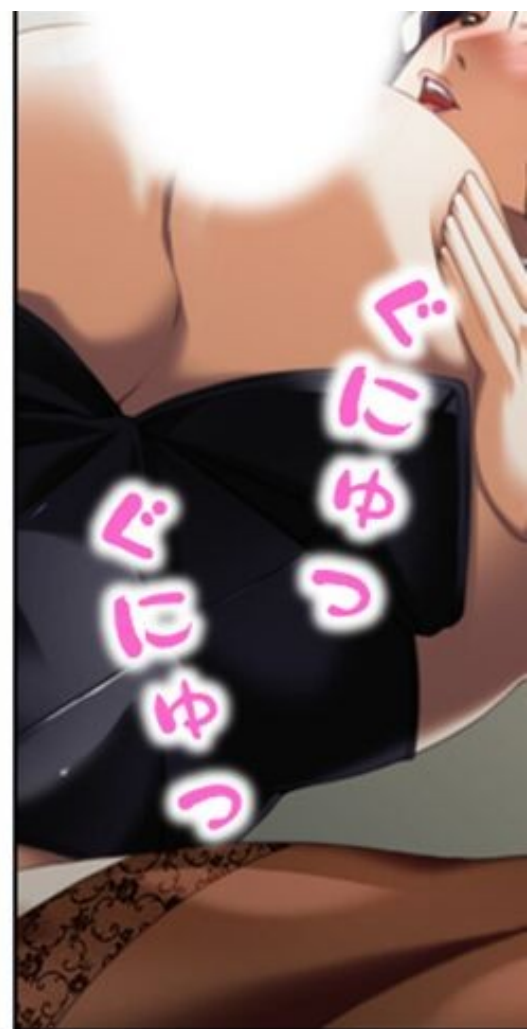


すごく似合ってますよ
栄子さん…

ぼっ
きん
ぼっ
きん



もうこんな
しちやったの…？
じゃあ、しごいて
あげないとね？





パイズリでイきたい？

ぐちゅ

ぐにゅっ



それとも…
こっち？



もう、本当に
イケナイ子…



ああ…どっちも！
どっちでも
イきたいです！



じゃあ、まずは
こっちね？

ぐちゅっ

ぐにゅ

もにゅ



ああっ！
も、もう無理です！
栄子さんっ…！



ど
ぴ
ゅ
ど
ぴ
ゅ

ああん、もつと、
もつと出してえ！



ど
ぴ
ゅ
ど
ぴ
ゅ

ど
ぴ
ゅ
ど
ぴ
ゅ

ど
ぴ
ゅ
ど
ぴ
ゅ



ねえ、准一くん？
聞いてる？



…なあってことに
なっちゃったり！？

どふふ…



もう、どうせ…
エッチなこと
考えてたんでしょ…？

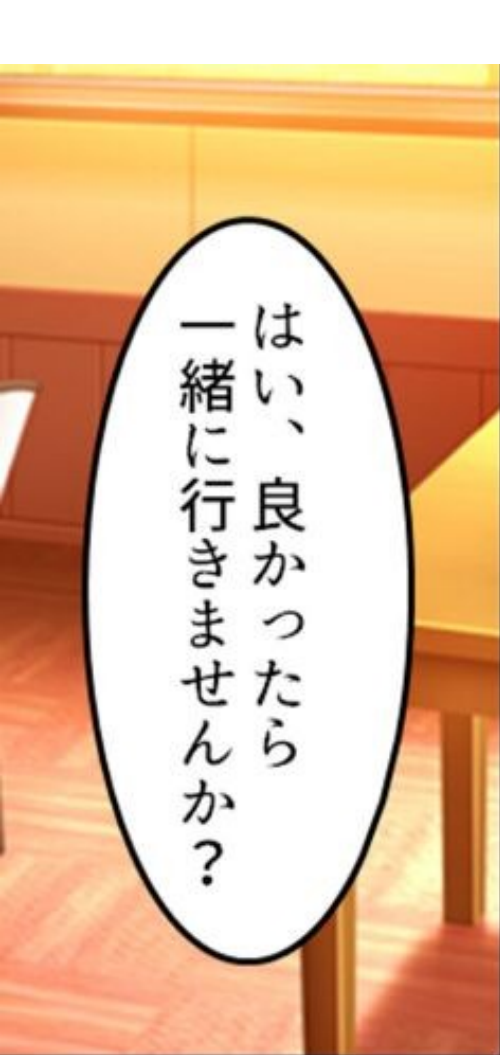


えっ…？
あ、すいません
考え事してて…





第6話
電車で痴漢に！？



はい、良かったら
一緒に行きませんか？



えっ？
ホテルの宿泊券？



ええ、是非！！



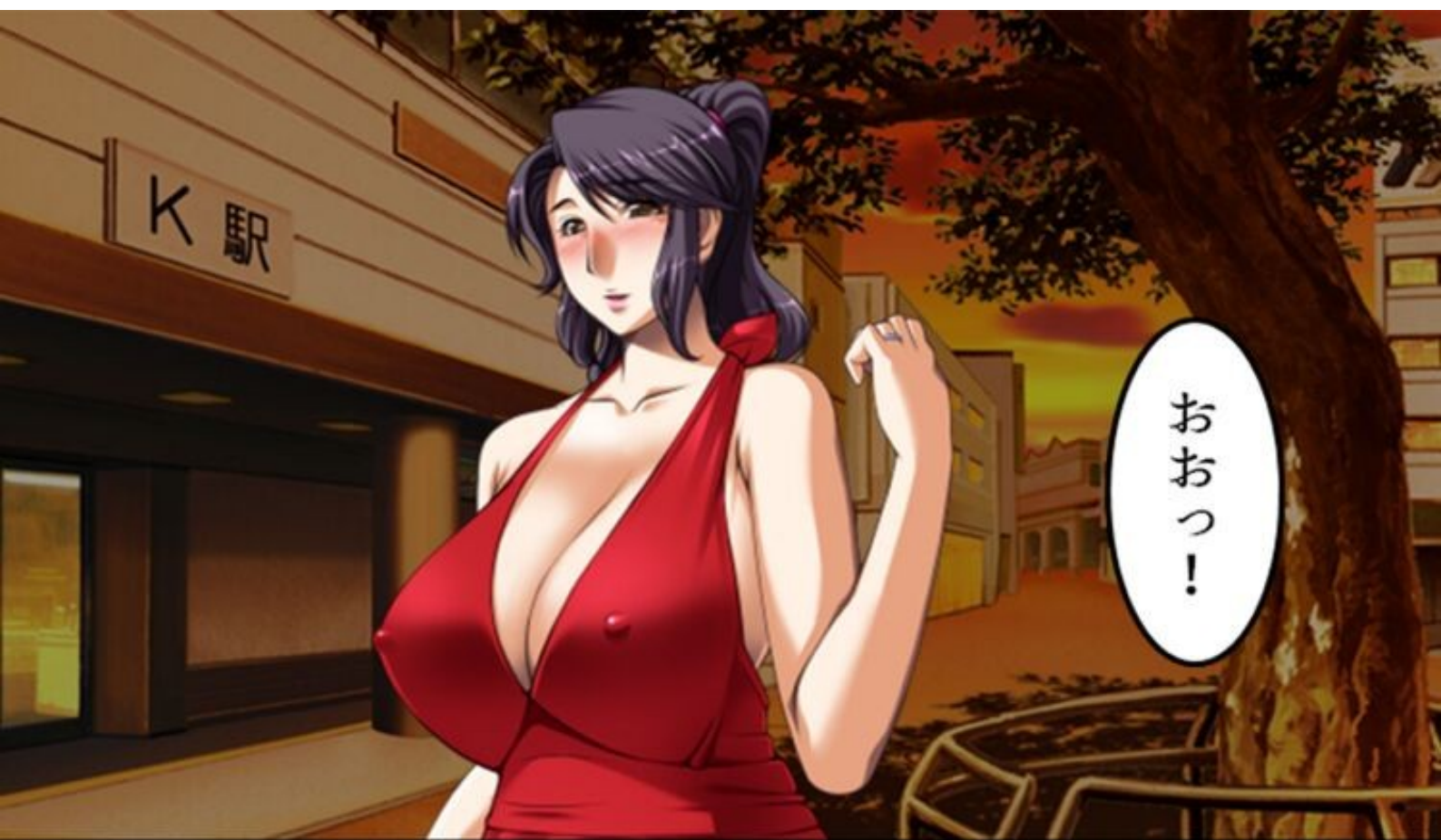
旦那さん、3日後から
出張だって
言っていましたよね？

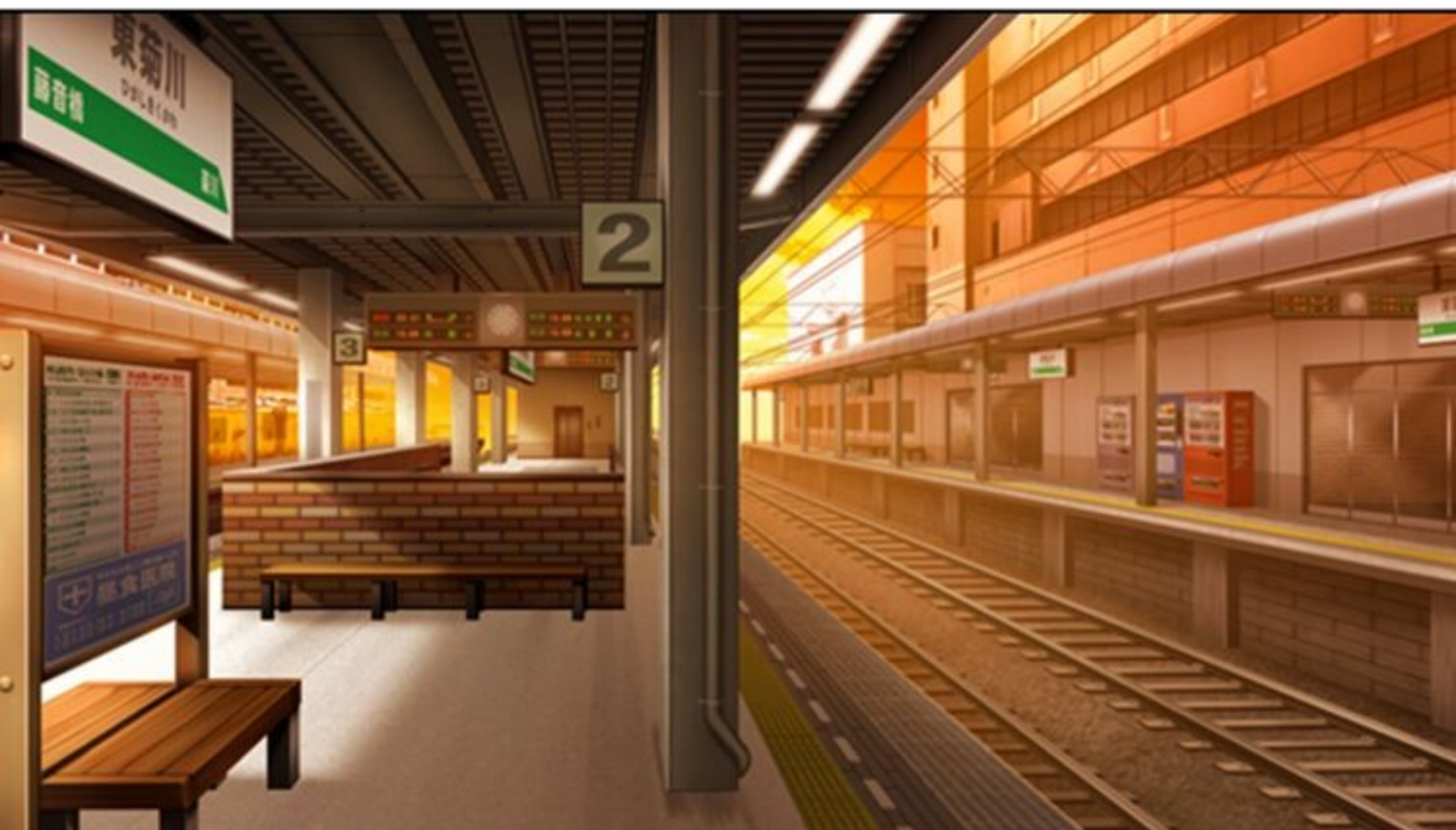
そして3日後…

待ちに待った、
旅行の日が
やってきた！

准一くん
おまたせ！

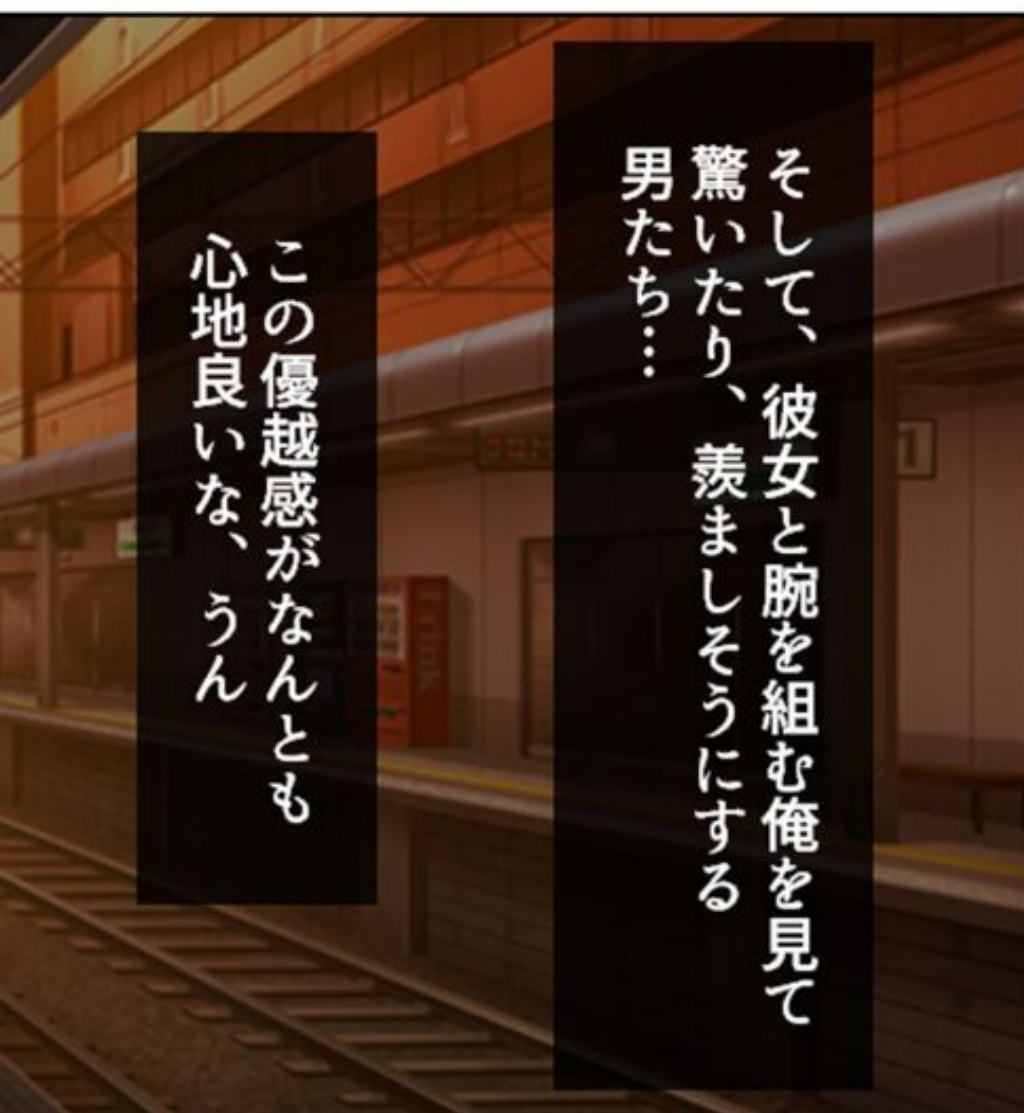






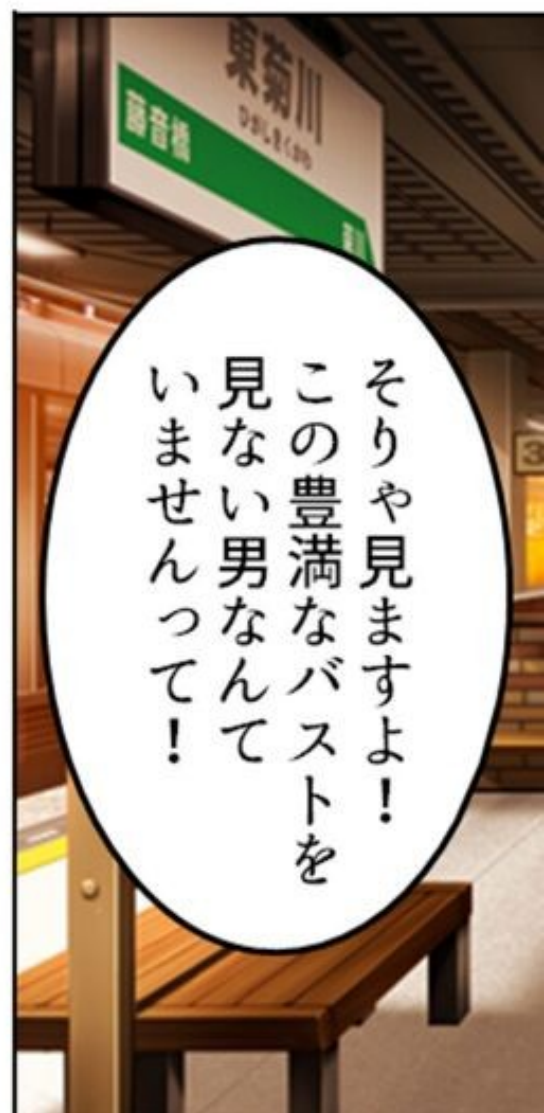


なんだか：
私、見られて
ないかしら？

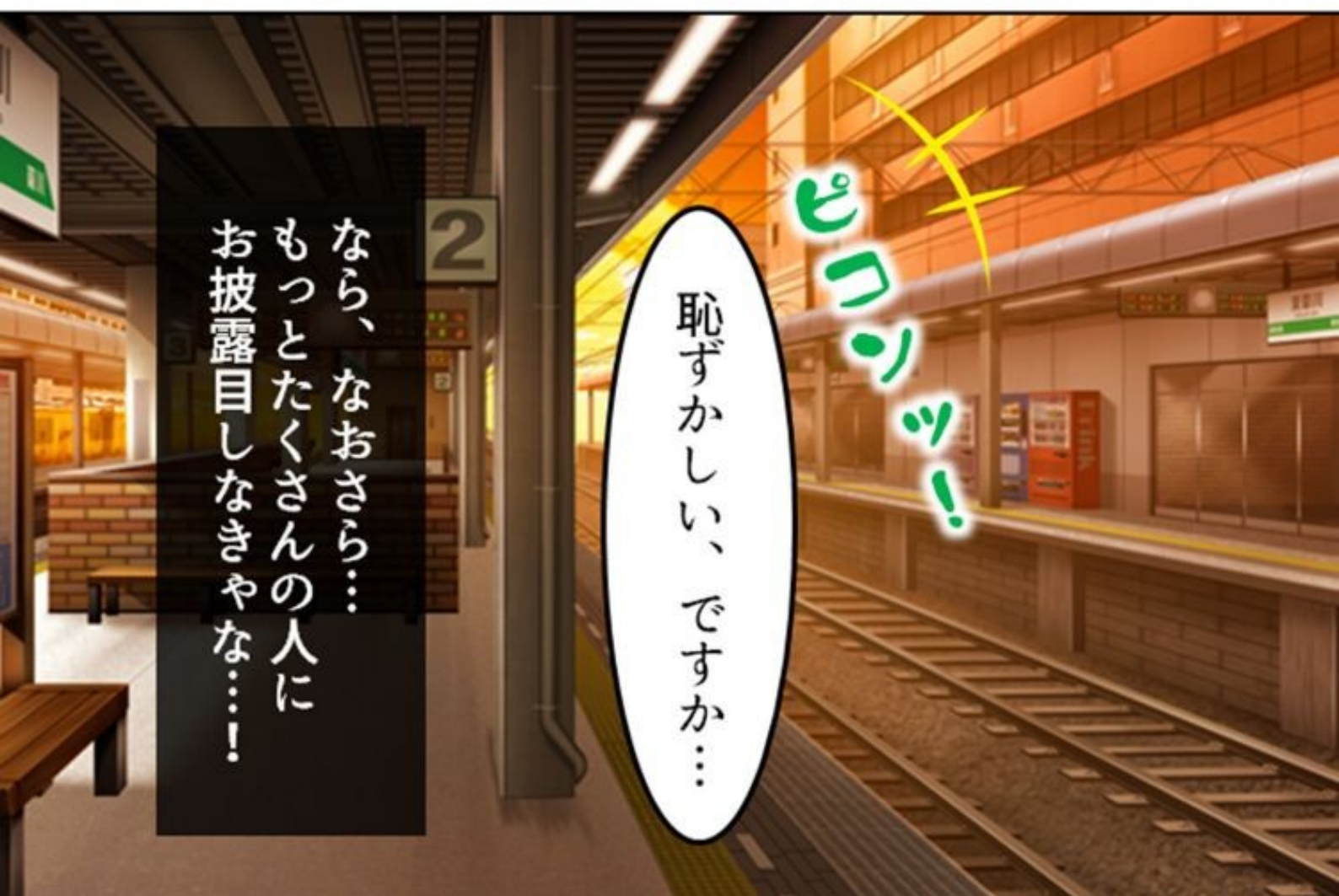


そして、彼女と腕を組む俺を見て
驚いたり、羨ましそうにする
男たち：

この優越感がなんとも
心地良いな、うん



そりや見ますよ！
この豊満なバストを
見ない男なんて
いませんって！







そうね、でも、
ちよつと狭いかしら…



これだけ混んでくると、
痴漢に遭うかも
しれないですから



じゅ、准一くん…
ちよつと
胸が苦しいわ…



頑張つて、もう
ちよつとこっちに…



きゅっ!..?

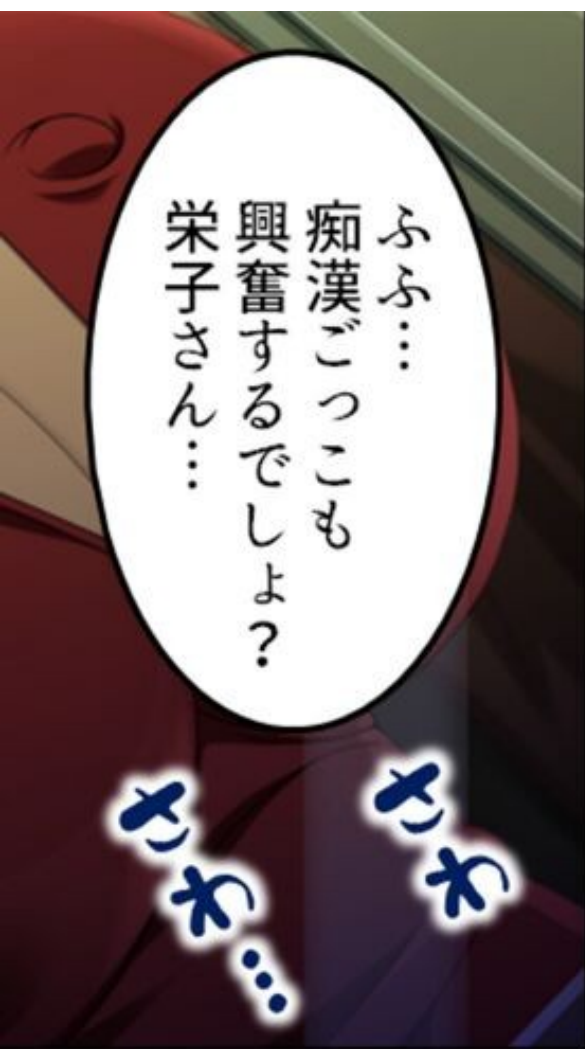
びゅっ



ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ...



奥さん、あんまり
声出しちゃ
まわりに聞こえ
ますよ...?



ふふ…
痴漢ごっこも
興奮するでしょ？
栄子さん…

ちゅ…
ちゅ…



な、なんだ…
准一くんだったの…
痴漢かと思っただじやない



他の人に
気付かれたら…

どき
どき



あ…だ、ダメよ
こんなところで…



いいじゃないですか
この路線なら、知り合いは
いないですし…



あ…
ダメ、ダメえ…!!

び
ん
つ



楽しみましょうよ?
栄子さん…

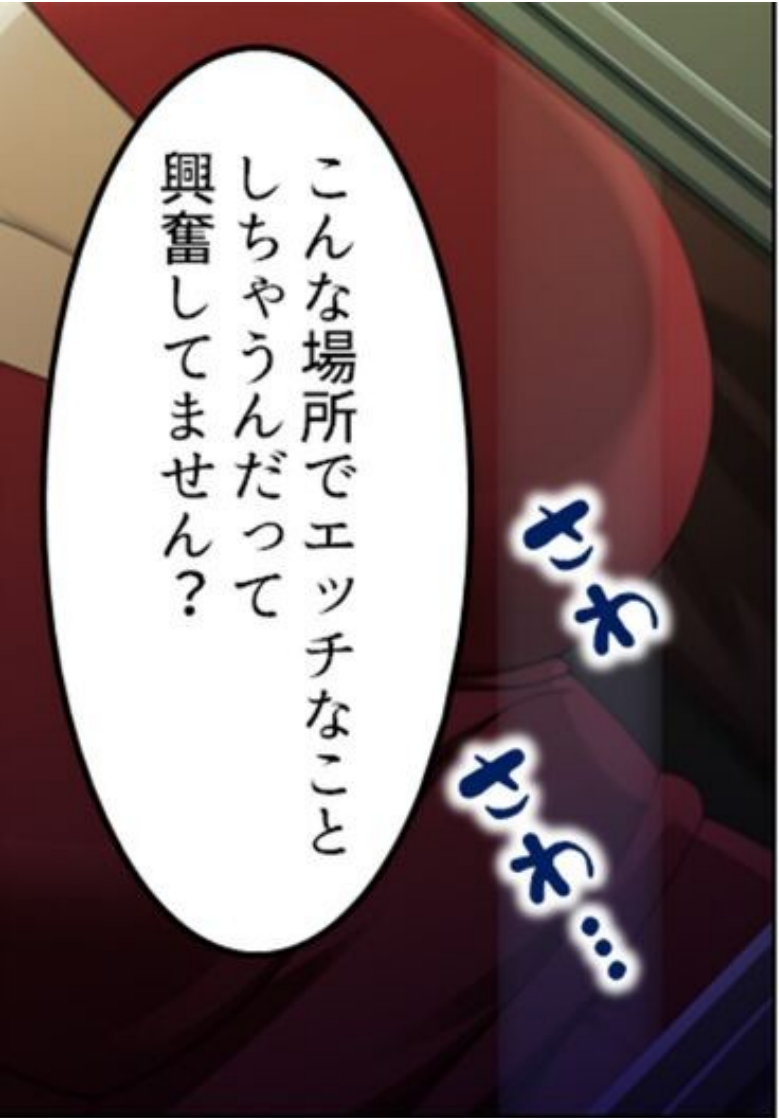
ぺろっ…



そう言うわりに、
嫌そうな反応じゃない
ですよ？

どき

どき



こんな場所でエッチなこと
しちゃうんだって
興奮してませんか？

ええ

ええ...



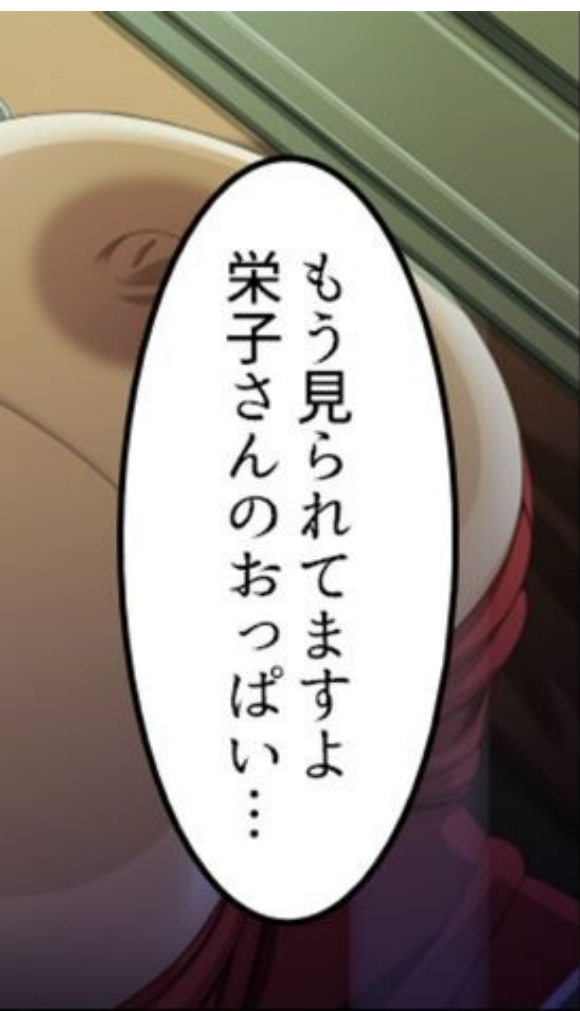
ドキ

そ...
そんなこと...



どうでしょうねえ…
あ、反対路線と
すれ違いますね







興奮してるんだから
立派な痴女じゃない
ですか

ああんっ！ダメえ…
痴女だと
思われちゃうう…！

はあ
はあ…



ほらっ、もっと
よく見せて
あげましょう！



いっせーやっつて...

ぐにゅ

どいゅ





乳首いじられて
起きたせちゃって…

ぴくん

感じまくってる
栄子さんを、みんな
見てますよ…!!



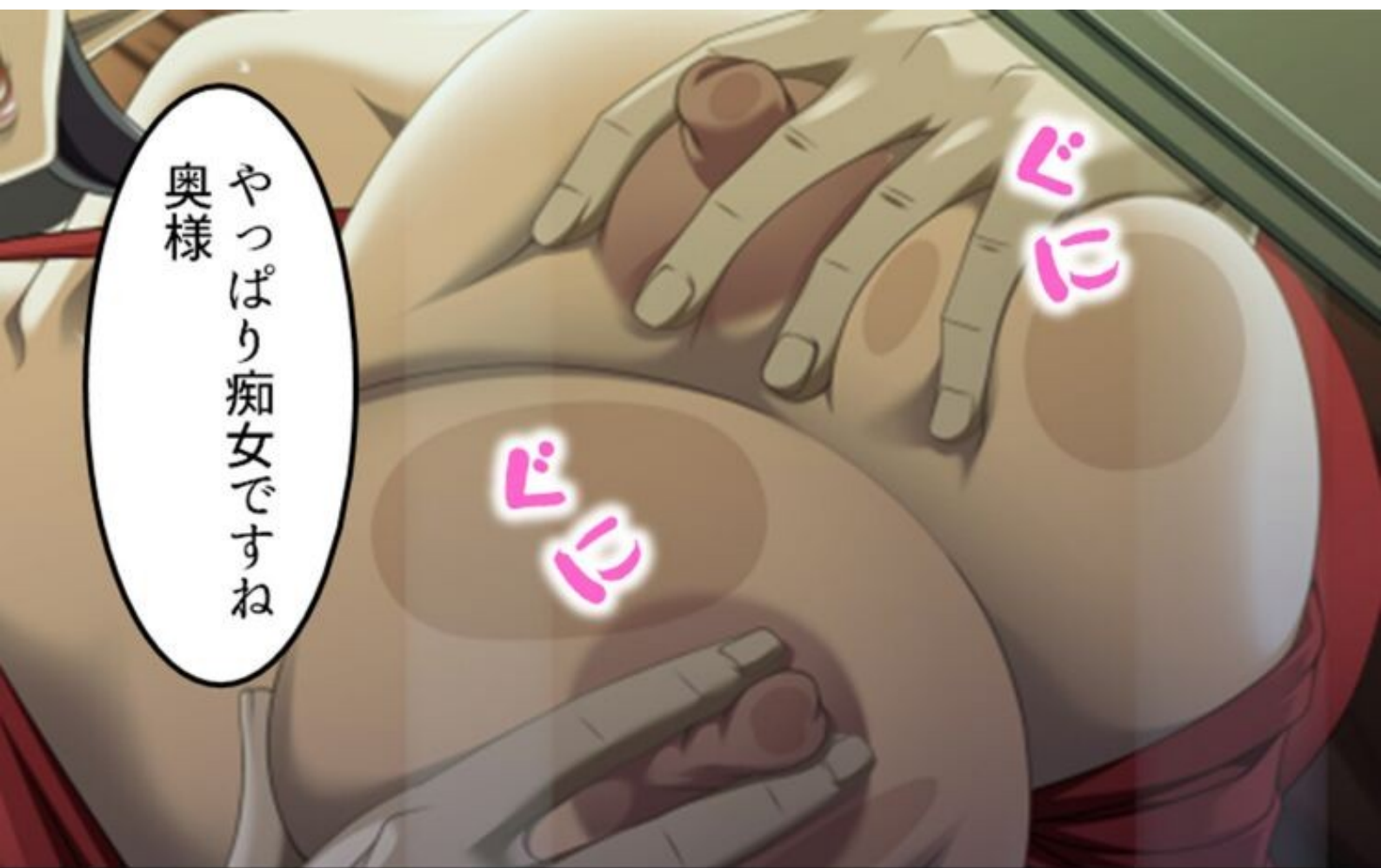
はあ

はあ

あ…准一くん、
私…もう、
ダメえ…



もうダメって、
イキそう
なんですか…？



奥様
やっぱり痴女ですね



分かりました…
じゃあ、好きなだけ
イってください…!!



んっ…ち、痴女でも
いいから…
お願い、イかせて…!!



あつ…あつ…!
いく、いつちゃう…!

This panel shows a close-up of a character's face, looking down with a distressed expression. A speech bubble is on the right, and pink sound effects are written vertically in the center.



電車で痴漢されて
みんなに見られて…
いつちゃう…!

This panel shows a close-up of a character's face, looking down with a distressed expression. A speech bubble is on the left, and pink sound effects are written vertically in the center.



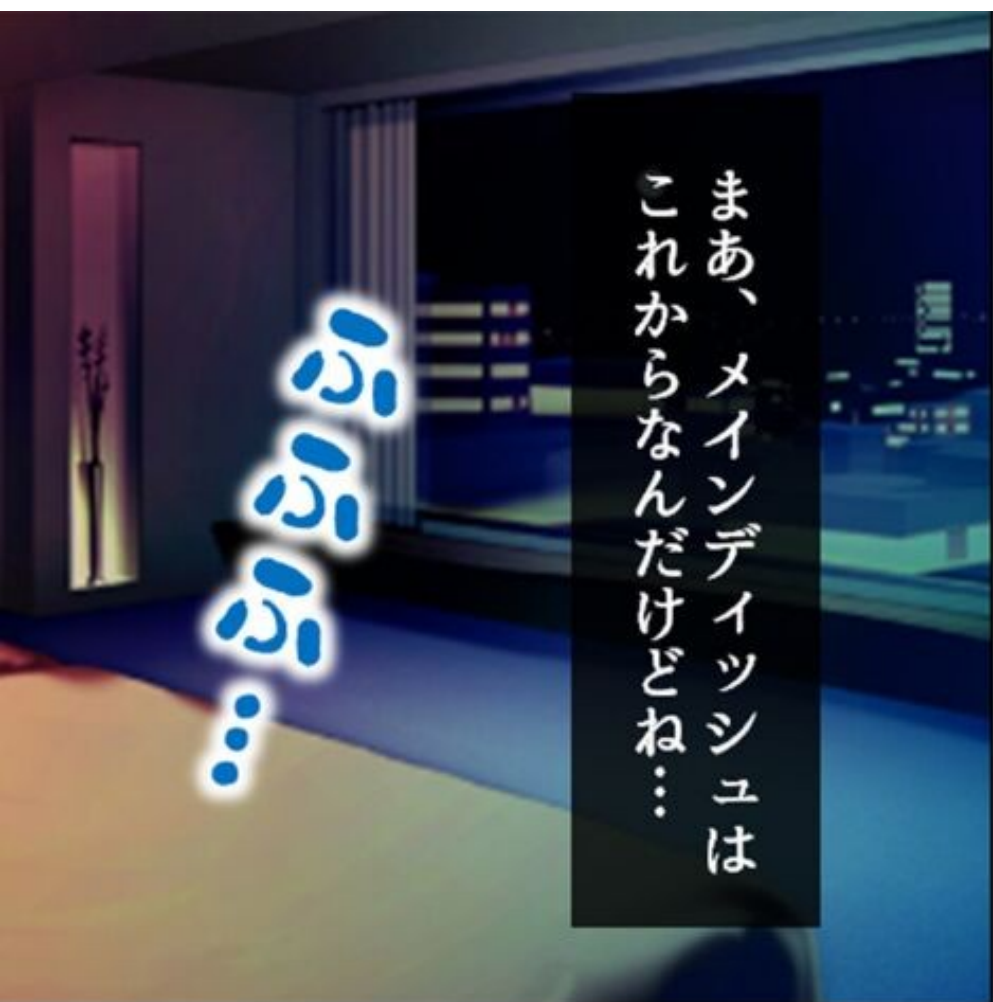


ああっ…ひいっ…
イっちゃった…!!

見られながら、
イっちゃったあ…!!





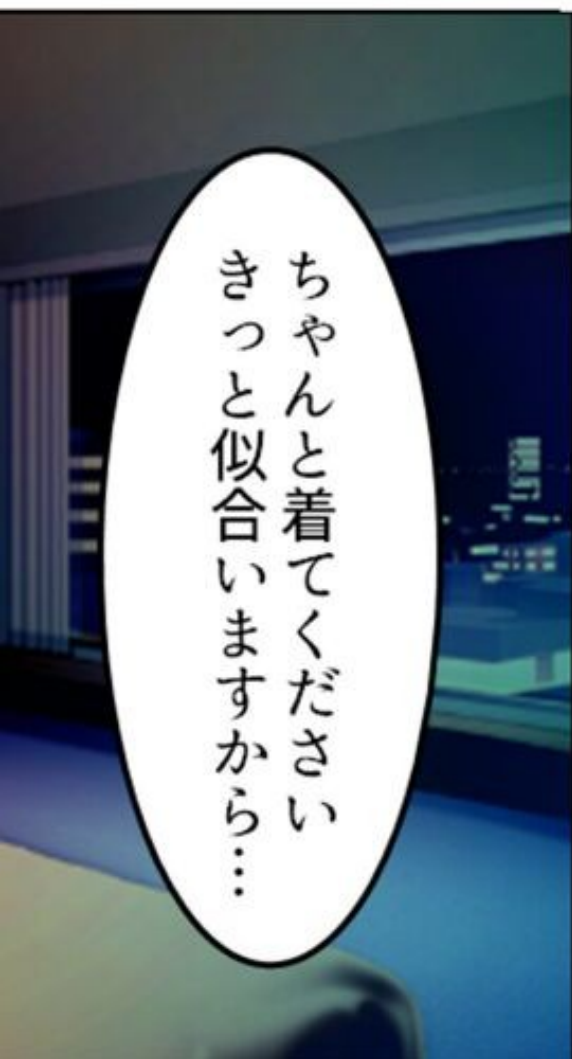


ふふふ…

まあ、メインディッシュは
これからなんだけどね…



はあ
メシが上手かった！



ちゃんと着てください
きつと似合いますから…



准一くん…
本当に、これ着なきや
ダメ…？





いいじゃないですか！
似合ってるし…すごく
エロいっ…！



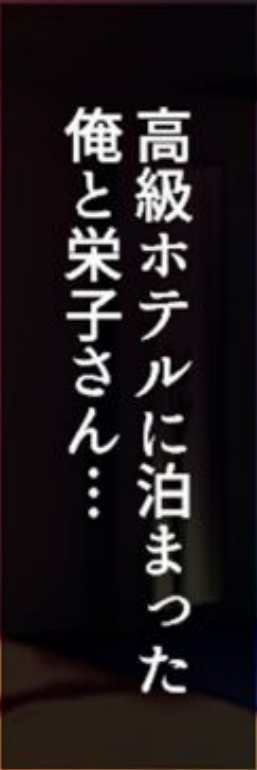
…やっぱり、
恥ずかしいわ…



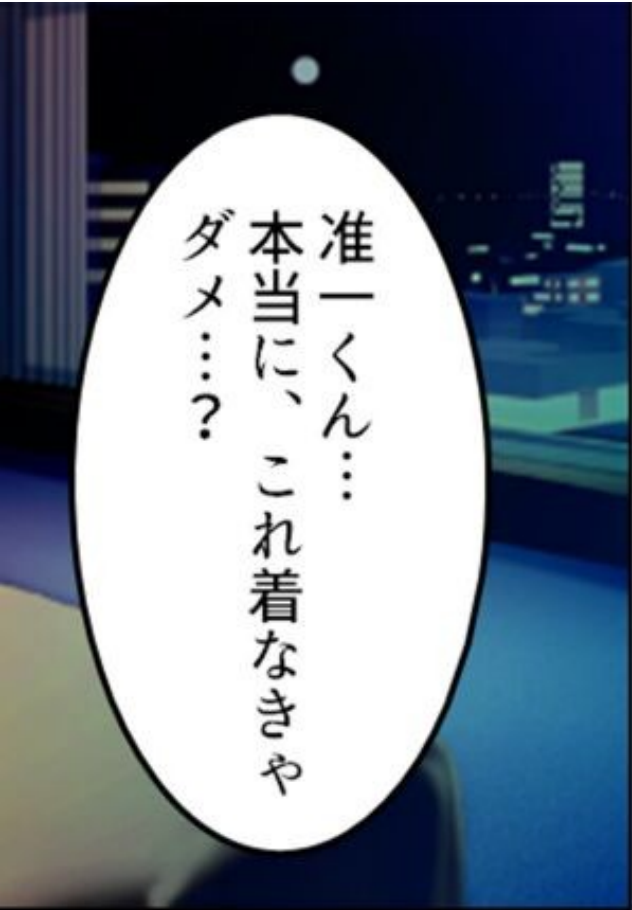
さあて、早速
准一先生の授業を
始めますよ…！



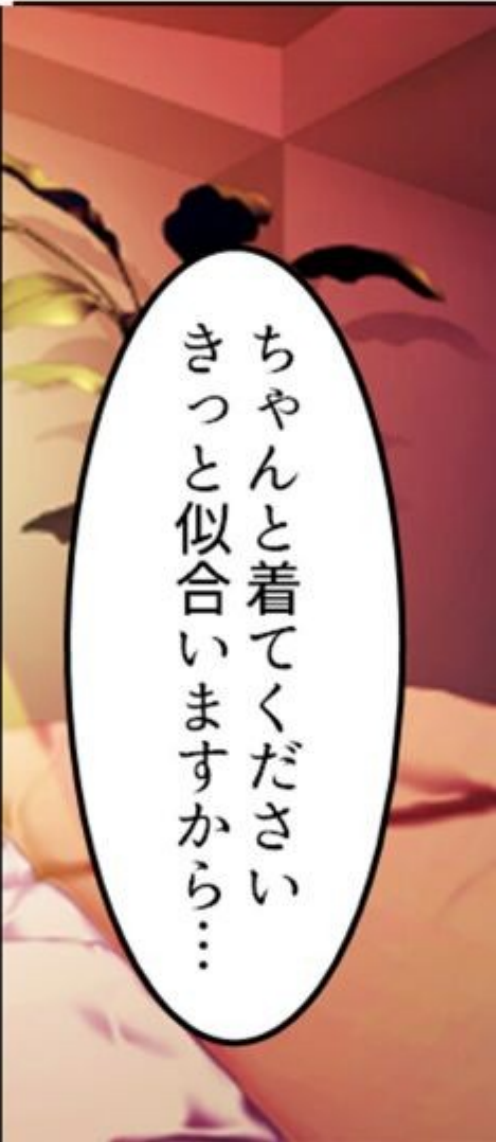
第7話
妻の淫らなセーラー服



高級ホテルに泊まった
俺と栄子さん…

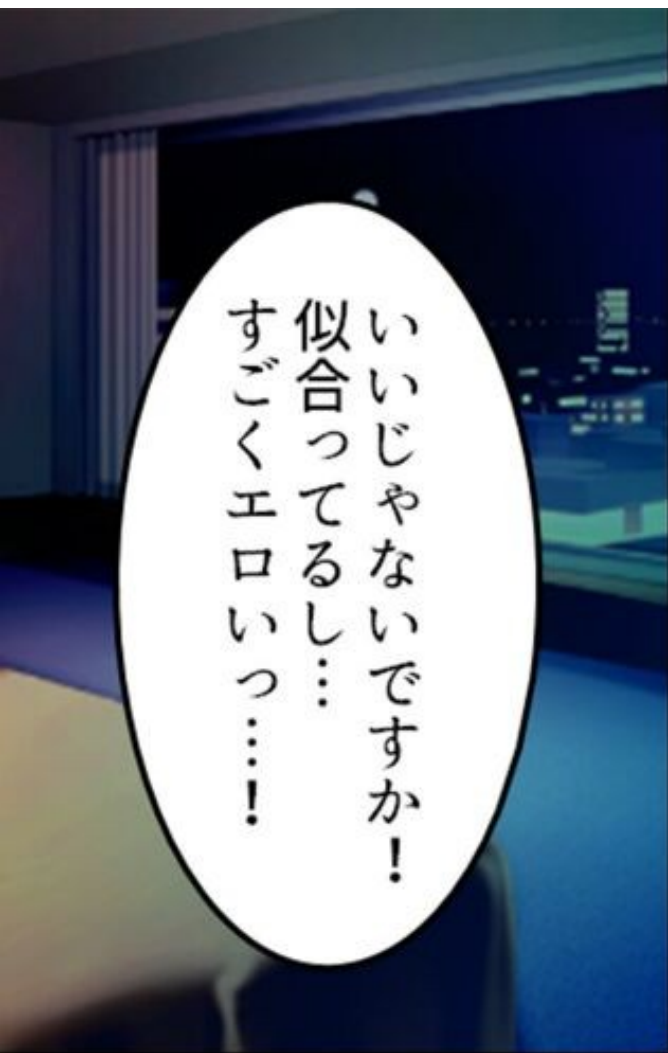


准一くん…
本当に、これ着なきや
ダメ…？



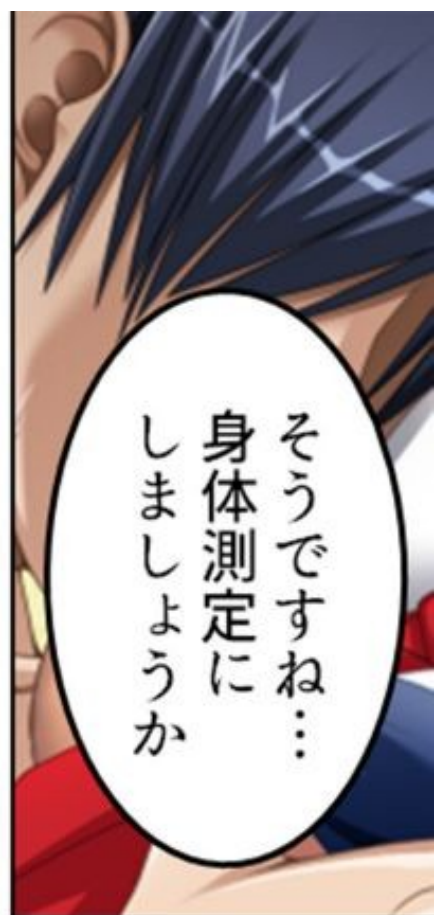
ちゃんと着てください
きつと似合いますから…











そうですね…
身体測定に
しましうか



あんっ！
…どう、先生？
私のおっぱい？



大きさも柔らかさも、
とても良いですね！



ここは口で
調べて
みましようか



おや、でも…
一箇所
硬いところが
ありますねえ？





あん、もう…
先生の
イジワル…



直接触って、
吸ってえ…！



お願い…
服の上から
じゃなくて…



ワガママ言うのと、
こうですよ！



仕方ない
生徒ですねえ…



ああ！
引っ張っちゃ
いやあ…



ああん！
ほんとに
イジワルう……！

はあっ

はあっ



直接触って吸って
って言ったのは
栄子さんでしょ？



全然
物足りなそう
ですね？



電車の中でも
散々いじられて
イッたのに…



うん、物足りないの…
もっともっと
気持ち良くなりたいし…



准一くんも、
気持ち良く
してあげたいの

うふっ





おにゅ
ぶにゅ



どう？
気持ち良い？
准一くん？



ちゅっ
れろっ



ふふ、准一くん
おっぱい
大好きだものね？





気持ち良いこと
いっぱいして
くれたもの…

私のおっぱい、
好きだって
言ってくれて…



だから、私も
この胸で良かったって
思えるようになったわ







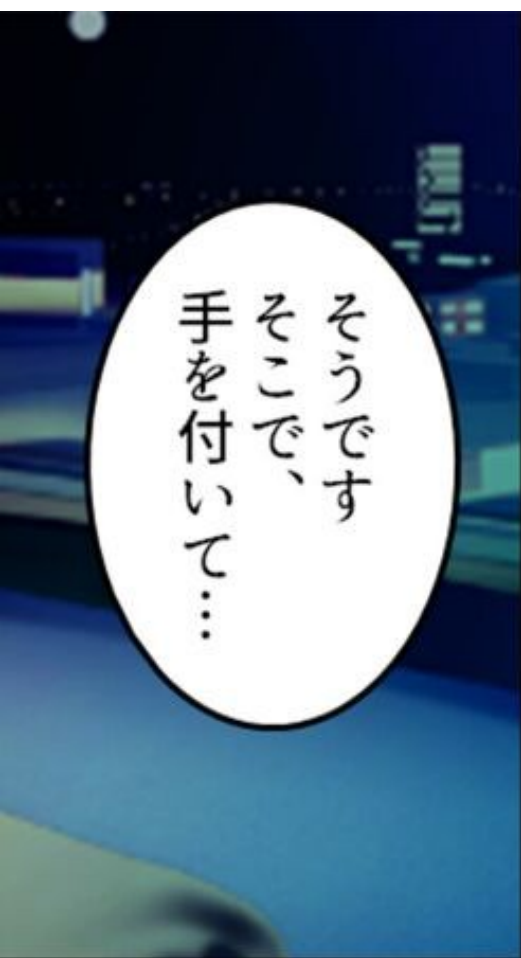
はあっ…
そ、そんなこと
言うなんて…
卑怯ですよ…!



ああ…
で、出る…!

ドカン!
ヒュッ!
ヒュッ!!





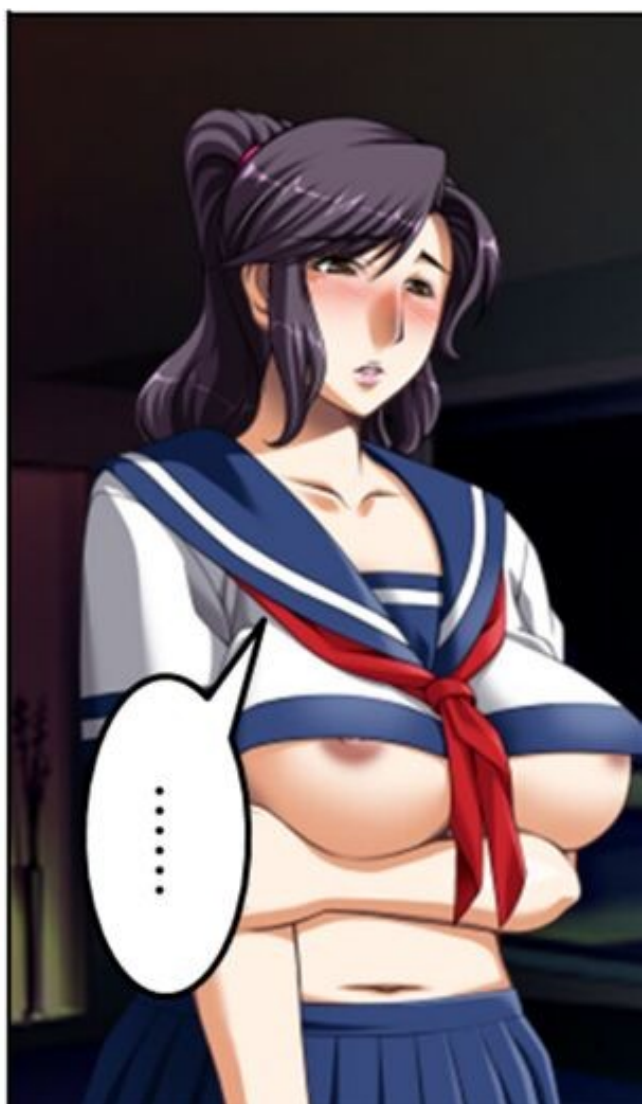
そうです
そこで、
手を付いて…



窓のところ？



…？
栄子さん、
どうかしましたか？



…

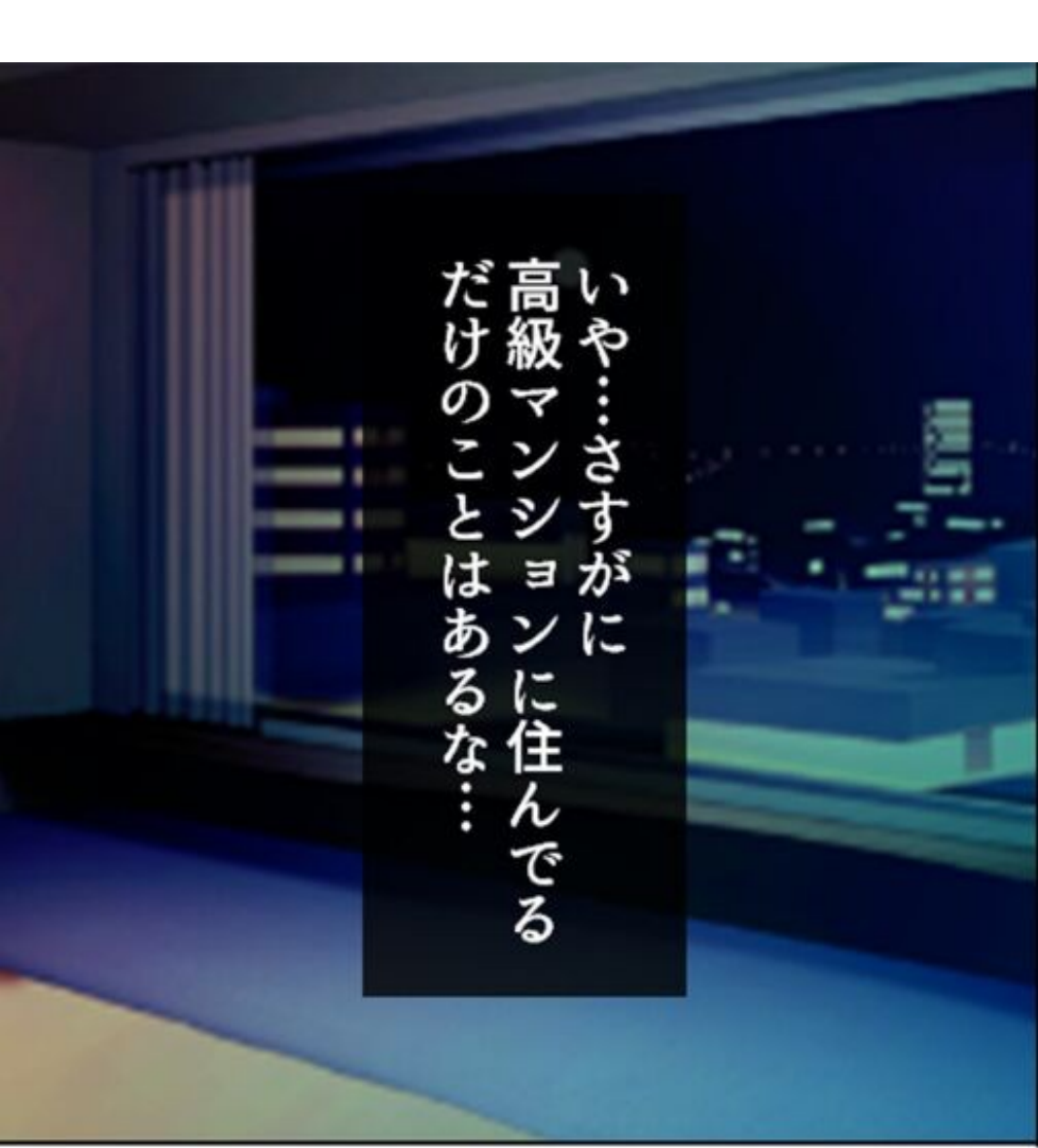


はい、アレですね…
大手企業の
有名なビル

准一くん、
あそこにビルが
見えるでしょ？
一番高いやつ



主人ね？
あそこで
働いてるのよ？



いや…さすがに
高級マンションに住んでる
だけのことはあるな…



えっ!?!?
あそこで!?!?



私が、他の男に
愛されていることも
知らずにね…



…主人は今も、
あのビルで
仕事をしてるはず



…栄子さん？



夫の前で…
たくさんたくさん
愛して…!!

続く



准一くん、私を
もっと犯して？



第8話
夫の前で愛して！



私が、他の男に
愛されていることも
知らずにね…



…主人は今も、
あのビルで
仕事をしてるはず



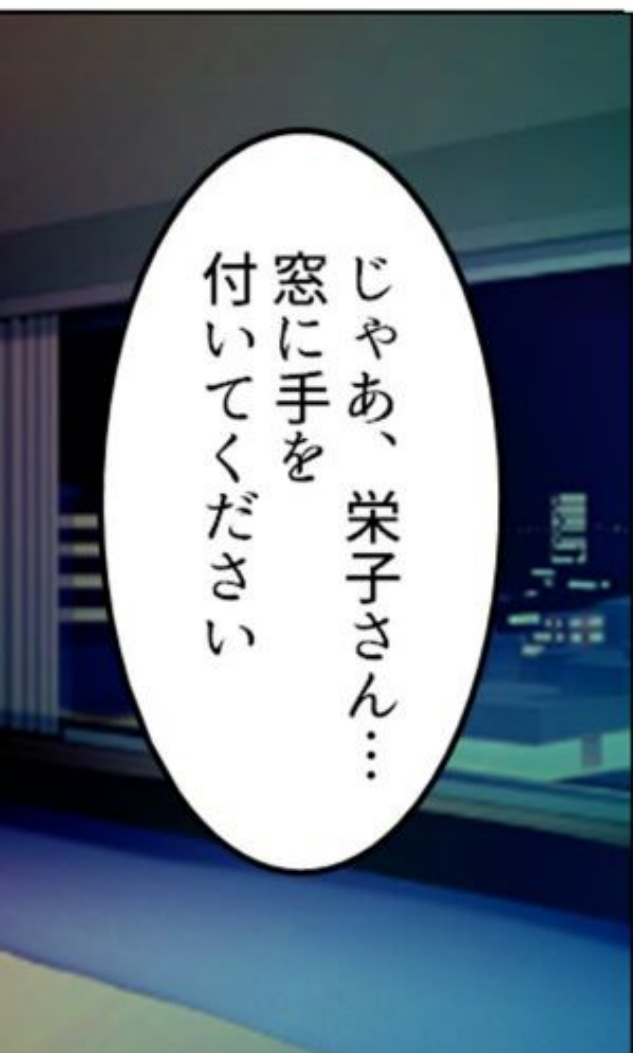
准一くん、私を
もつと犯して？



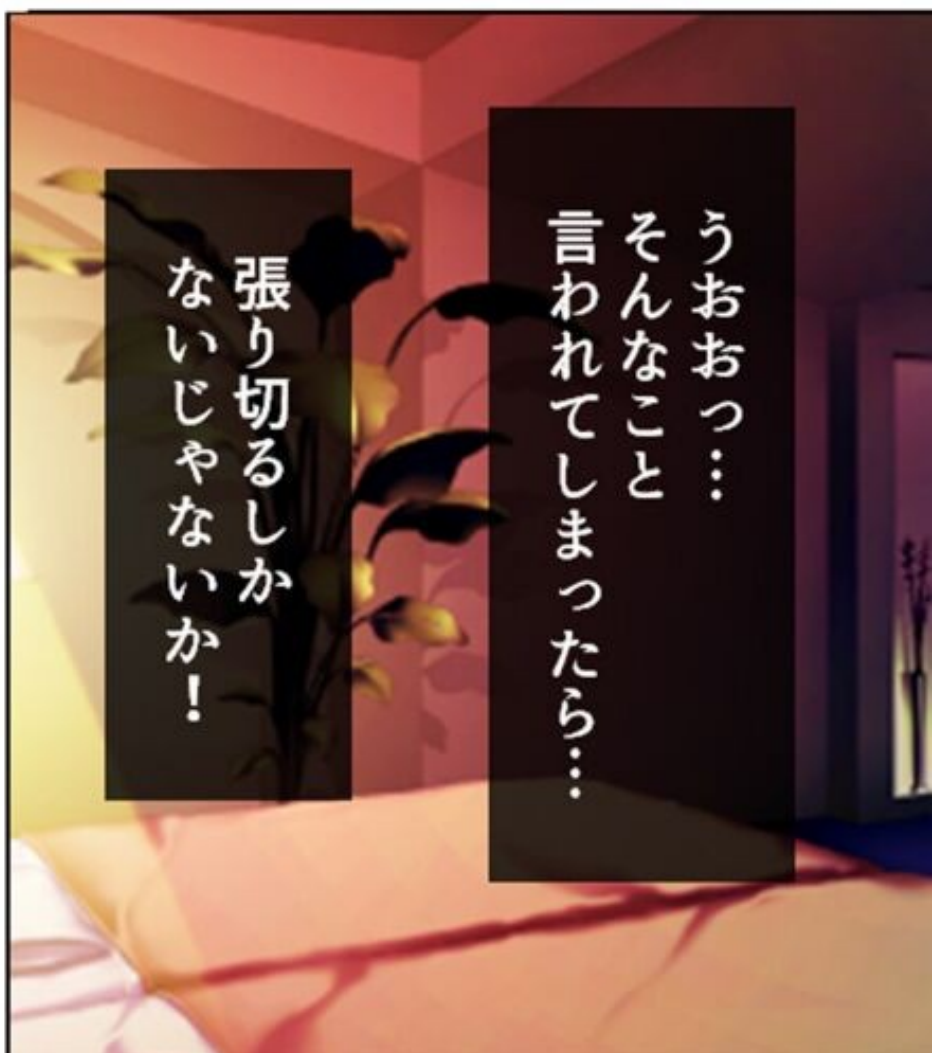
…栄子さん？



夫の前で…
たくさんたくさん
愛して…!!



じゃあ、栄子さん…
窓に手を
付いてください



うおおっ…
そんなこと
言われてしまったら…

張り切るしか
ないじゃないか!



そうです、
それでお尻を
突き出して…





一気に
いきますよ
栄子さん！



ああ、
准一くん……！



ああっ！



ずん……！



どうですか、
栄子さん？
気持ち良い
ですか？



あ、激しいっ！
奥まで
オチ○チンがあっ……！



うん、気持ち良い……！
たくさん、たくさん
突いて！





准一くん
に
マ○コと…

ずぱっ

ずぱっ

じゅぱっ



あつ、おっぱい
気持ち良い…!!

はあ

はあっ

びくん!



おっぱい
苛められて、
気持ち良いのお…!!

ぐにっ

ぐにっ



栄子さんは
いつも以上に
激しく腰を動かして
乱れている…

あんっ

あっ



夫の仕事場が見える
この場所で、
痴態を晒すことに
興奮しているようだ…

ああっ…

ぱんっ

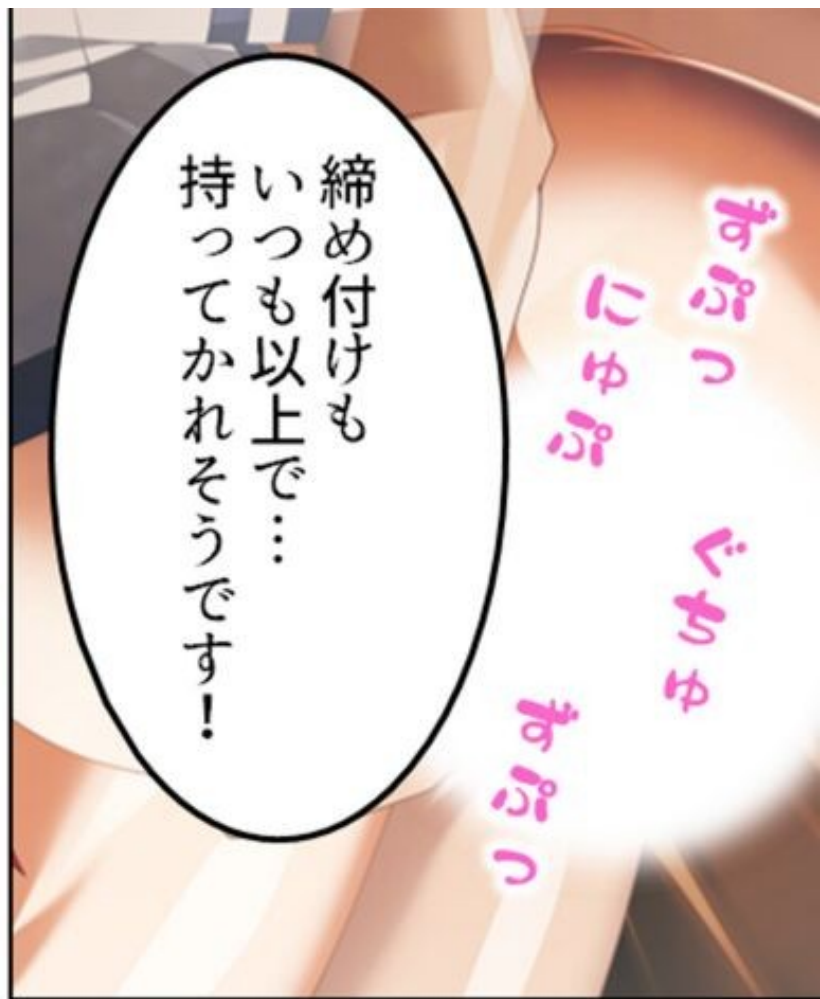
ぱんっ

あっ





はあ、あっ……！
准一くん、
もつと……！



締め付けも
いつも以上で……
持ってかれそうです！

ずぶっ
にゅぷ
ぶぢゅ
ずぶっ



乱暴にして
いいからっ……！
あっ……！

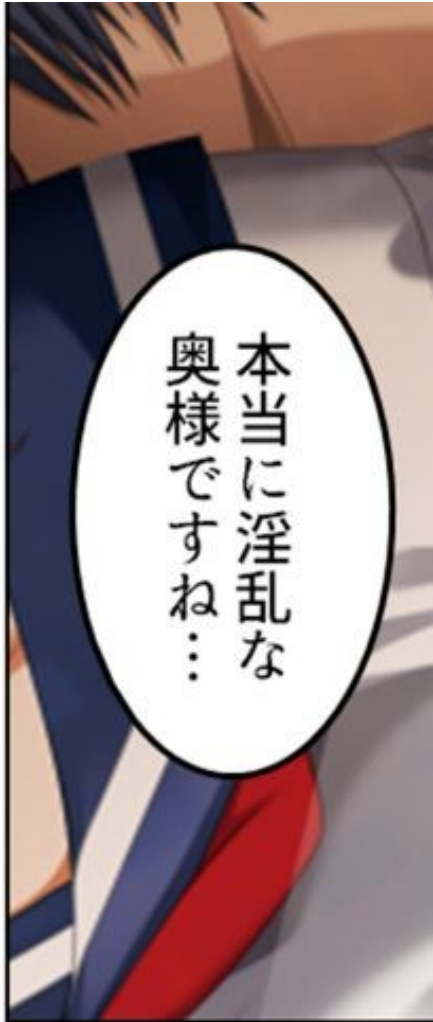
くりっ

くりっ



あつ、ん…！
もつと、夫に…

見せ付けてえ…！



本当に淫乱な
奥様ですね…



夫に不倫現場
見せ付けたい
なんて…

じゅ
ぱ
ず
ぱ
っ



あっ、あっ…
私、人妻なのにい…



他の男に
マ○コ突かれて、
悦んでるのお…！

ち
ぱ
っ
ぢ
ゃ
ゅ
っ



栄子さん、
すごく
エロいですよ…



学生の
若いチ○ポに
よがりまくって…



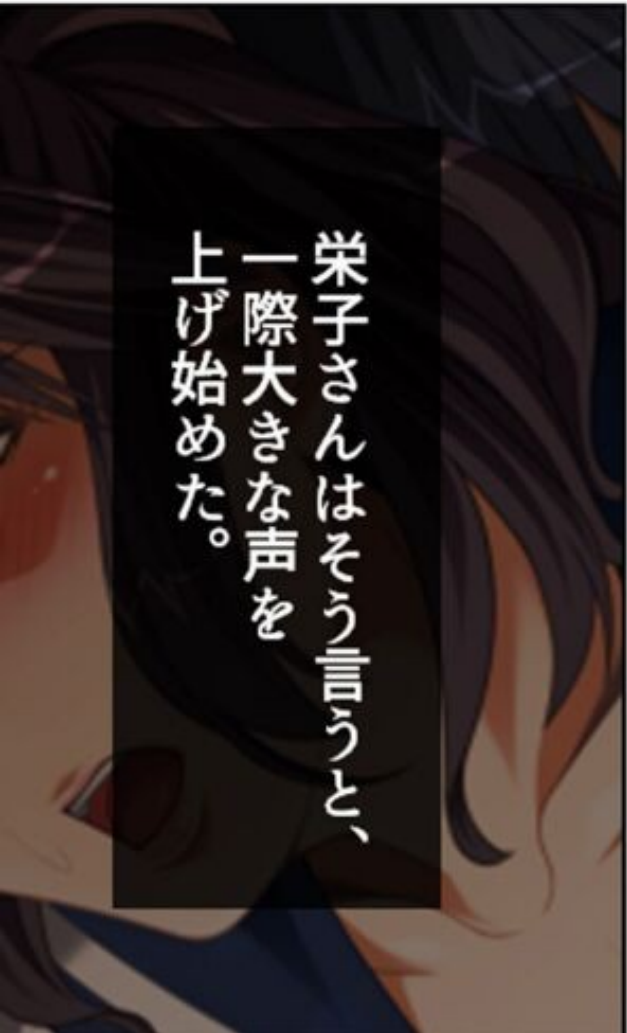
このおっぱいも
マ○コも…



もう、
旦那さんではなく、
俺専用のに
なっちゃいますね



ええ、そうよ…
准一くんの
専用なの…！



栄子さんはそう言っつと、
一際大きな声を
上げ始めた。



ああっ！
あなた、
見てえ！

え、
栄子さん！？



あなたが、
仕事してる間に…



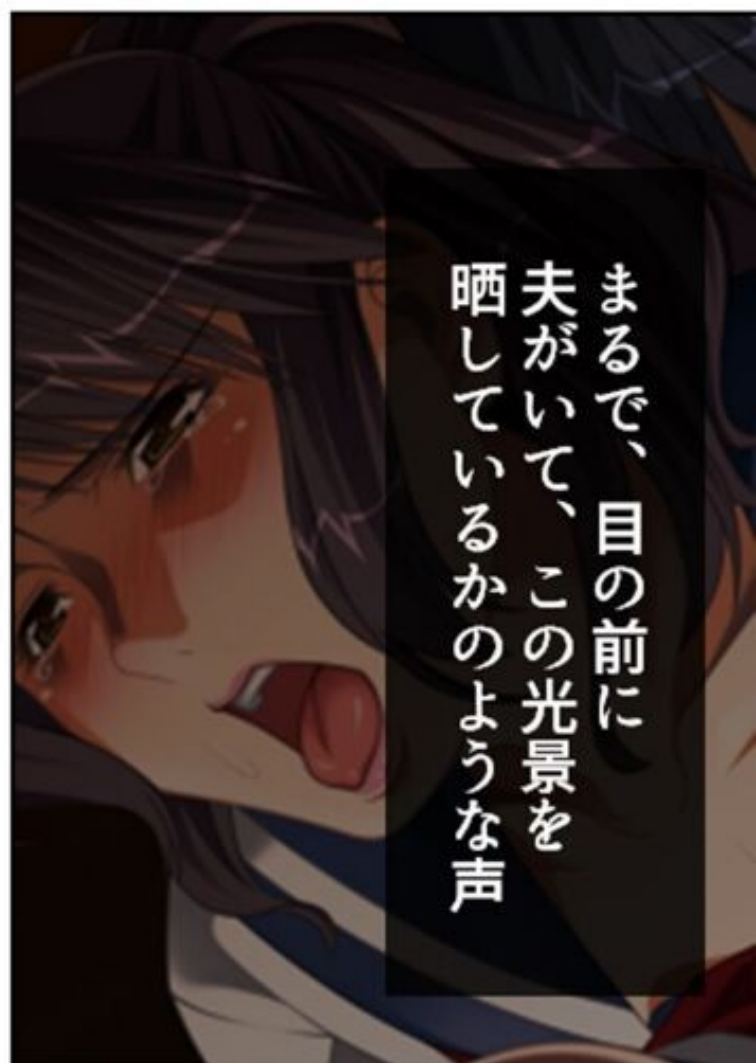
私、准一くん
に愛されてるの……！



すぐそばで、
たっぷり
愛されてるのお……！



その興奮に、
俺の息子も
限界が近づいてくる……！



まるで、目の前に
夫がいて、この光景を
晒しているかのような声



中に…
出しますっ…!!

ん、あつ！
ん、あつ！



ああつ！
出しますよ！
栄子さん！！

ん、あつ！
ん、あつ！



ん、あつ！
出して、出してえ！



夫の
仕事場前でえ…

パン
パン



たくさん
中出し
してえ!!

いきますよ
栄子さん!



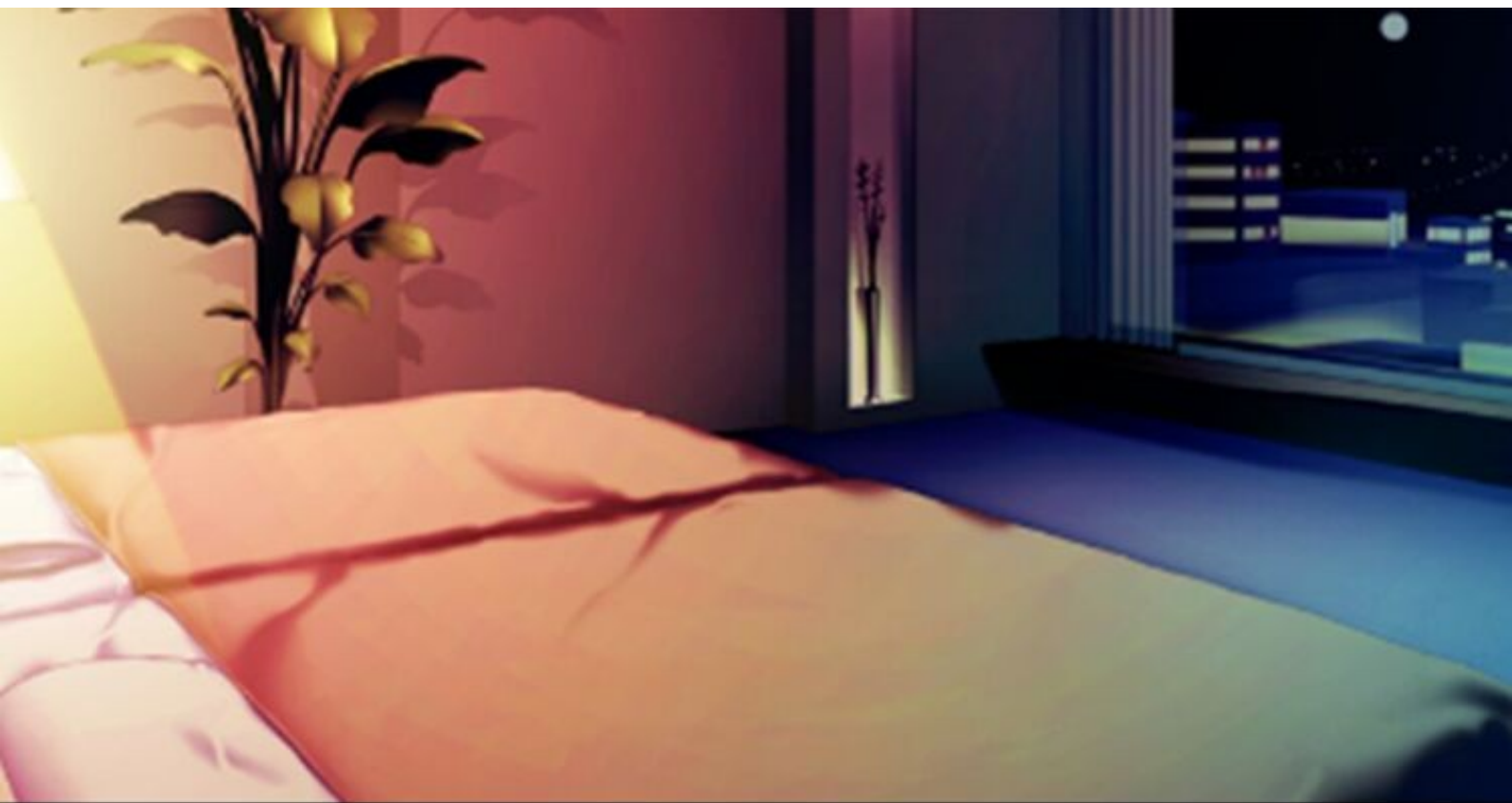
あああっ!

ビクンッ!

ビクンッ!

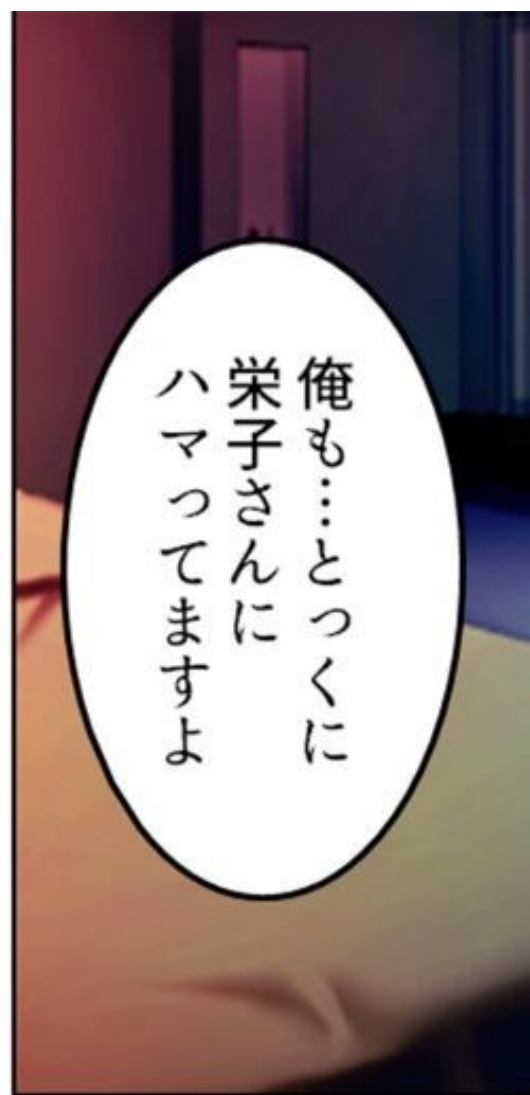
ヒュッ!!







もう、栄子さんの
おっぱいとおマ○コは、
俺のものです



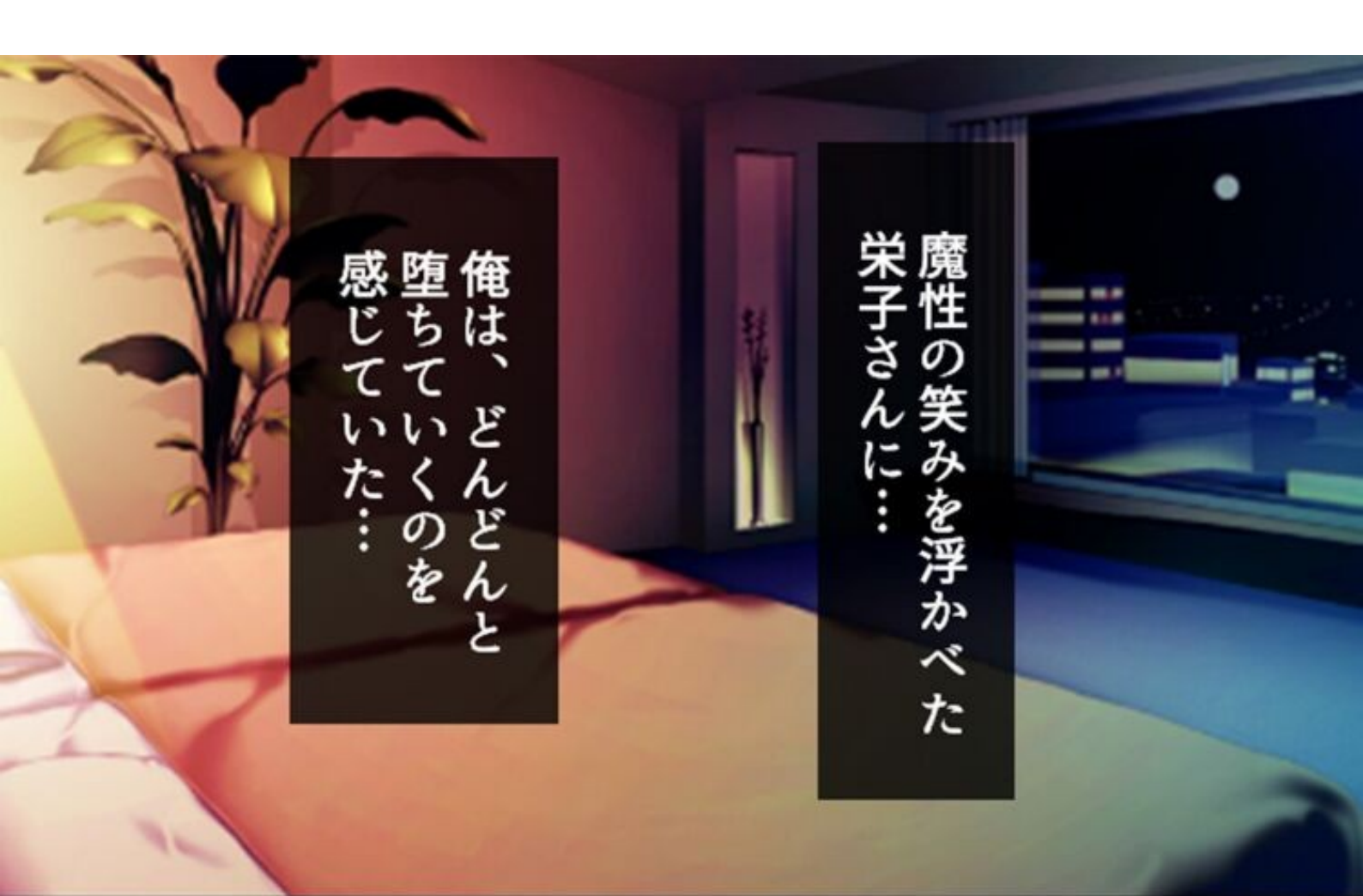
俺も…とつくに
栄子さんに
ハマってますよ



ずっと、
ずっとね？



ええ、そう。
私はもう
准一くんのものよ…



魔性の笑みを浮かべた
栄子さんに…

俺は、どんどんと
堕ちていくのを
感じていた…



うふふ…
大好きよ、
准一くん…



そしてそれは…
恐らく、栄子さんも
同じなのだろう…

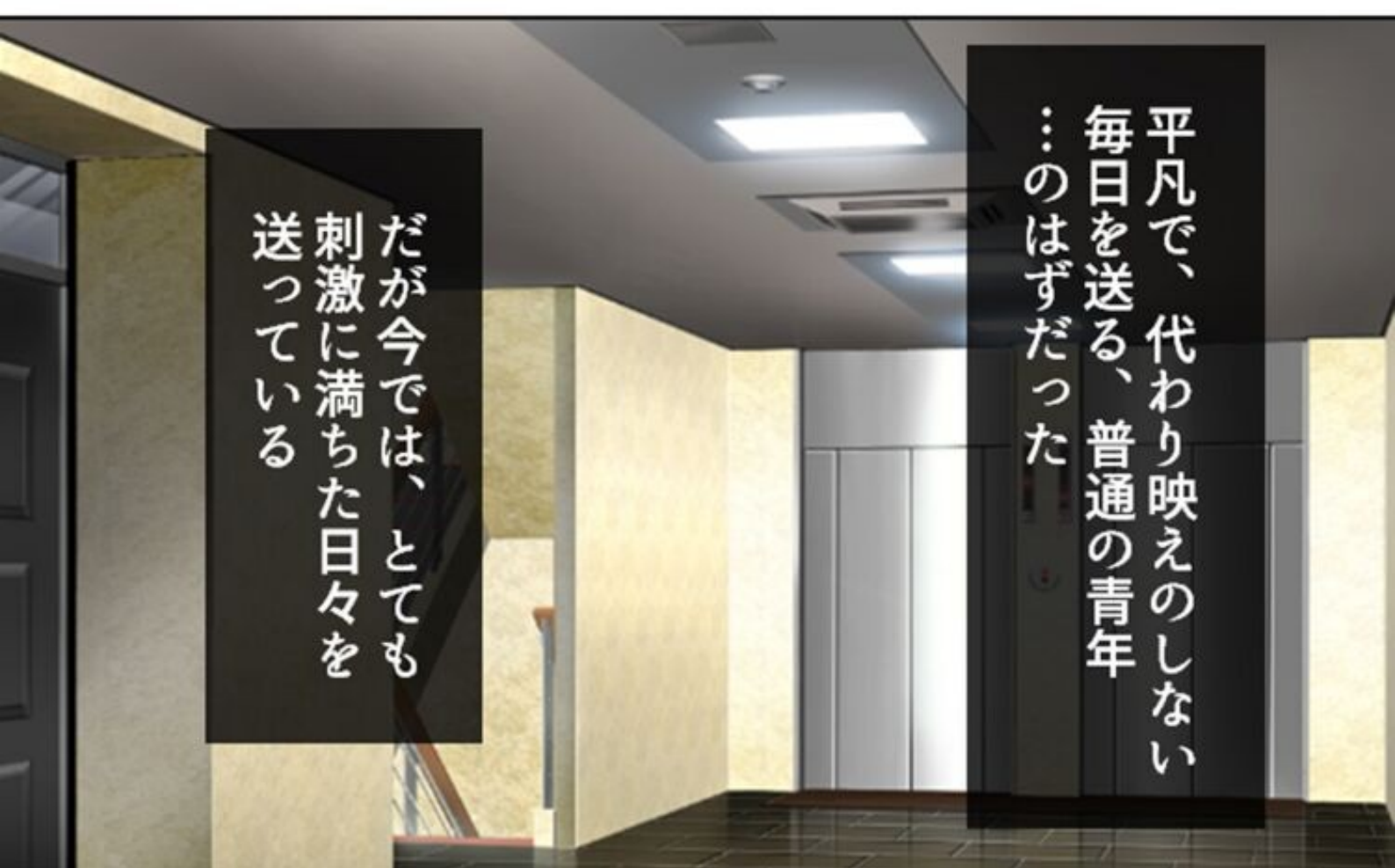
続く



最終話
いつまでも



俺の名前は、輪島准一
ワケあって、高級マンションの
管理人をしている大学生



平凡で、代わり映えのしない
毎日を送る、普通の青年
…のはずだった

だが今では、とても
刺激に満ちた日々を
送っている



おかえりなさい
准一くん



ただいまー



せっかく合鍵を
もらったんだもの



あ、栄子さん
来てたんですね！







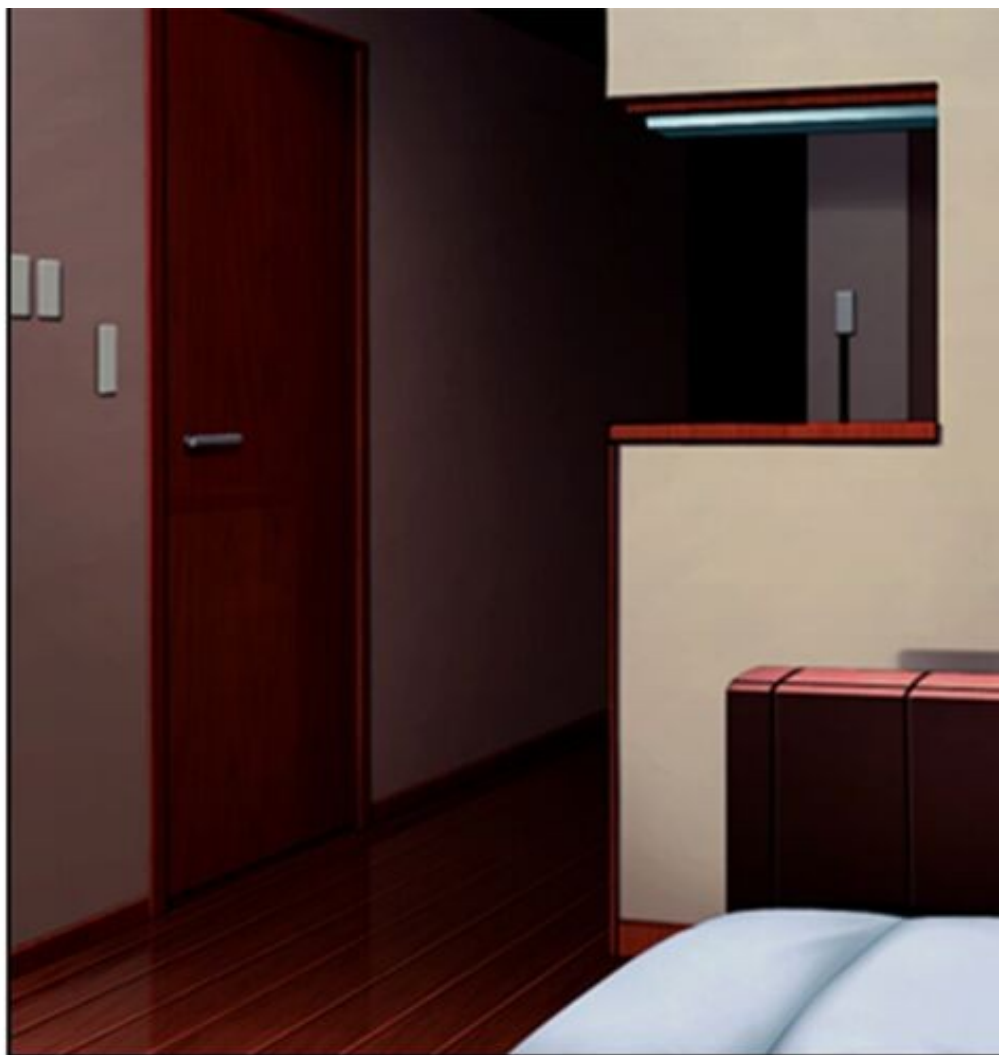
前に
プレゼントした服着て、
待っててくださいね？



じゃあ、
待ってるわね？
今夜の十一時に



…もう、
イケナイ人







でも、
あんたより先に
栄子さんが
来ちゃってねえ…

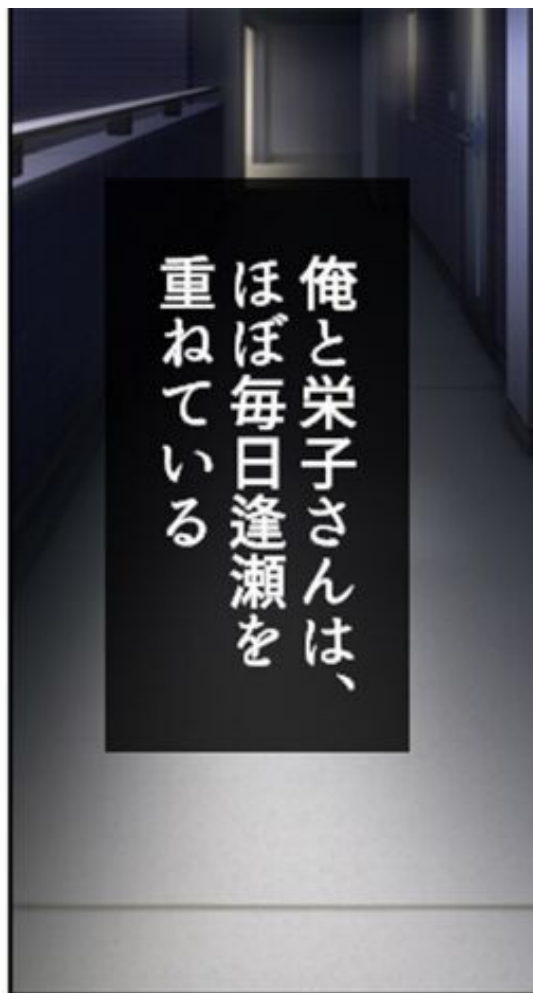
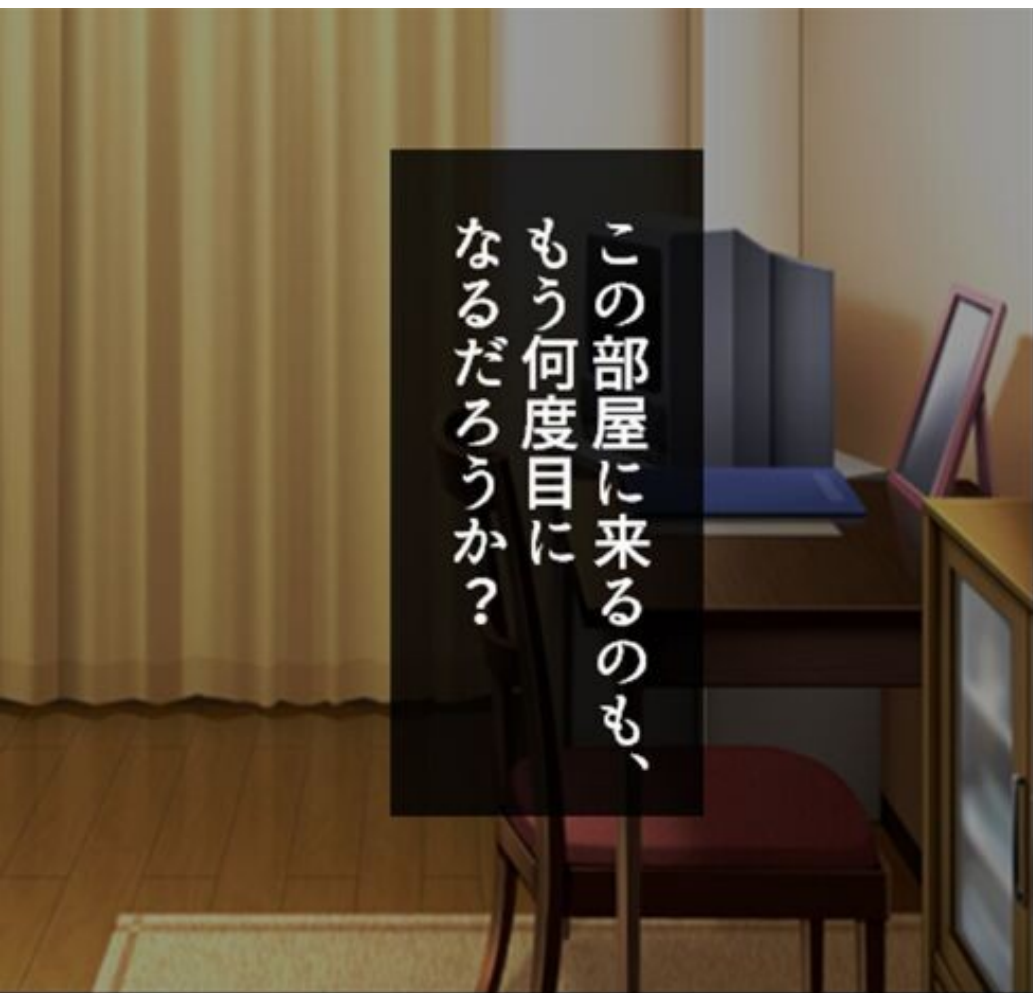


この刺激は、別に
いらないんだけどなあ…

…はあ



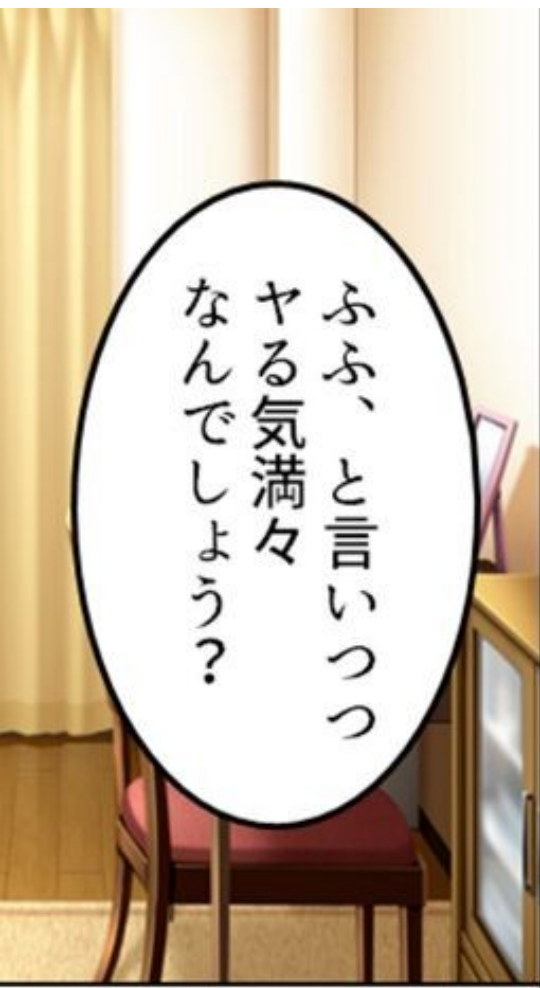
良かったわねえ
見つかって
修羅場にならなくて



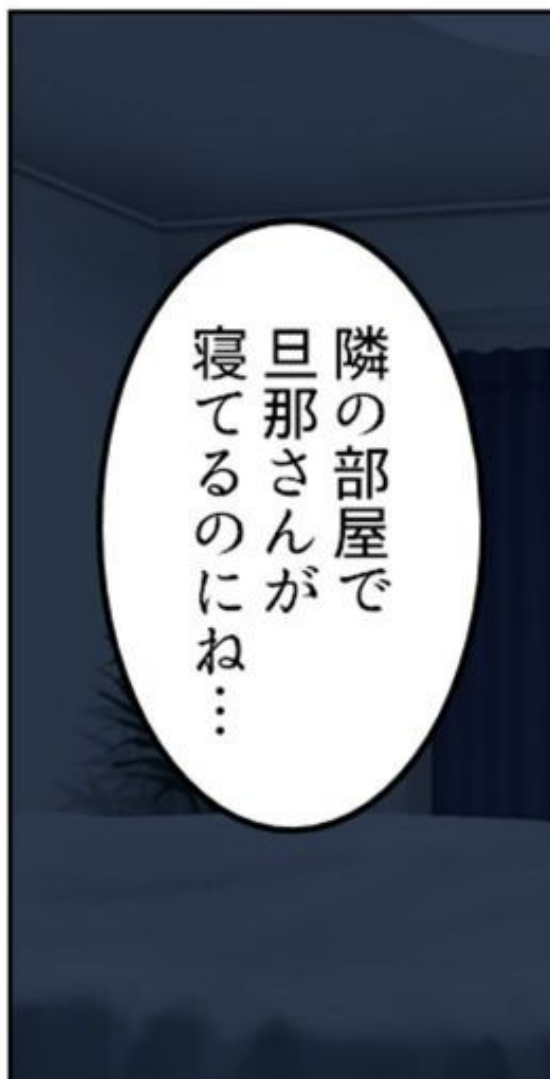




もう、どこで
買ってくるのよ
いつも…



ふふ、と言いつつ
やる気満々
なんでしょう？



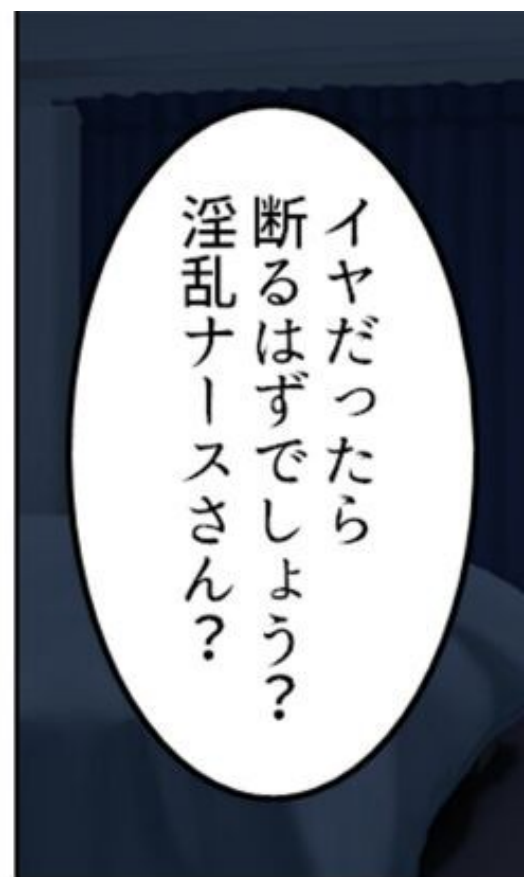
隣の部屋で
旦那さんが
寝てるのね…



だって、
准一くんが
今日はここが
いいって言うから…



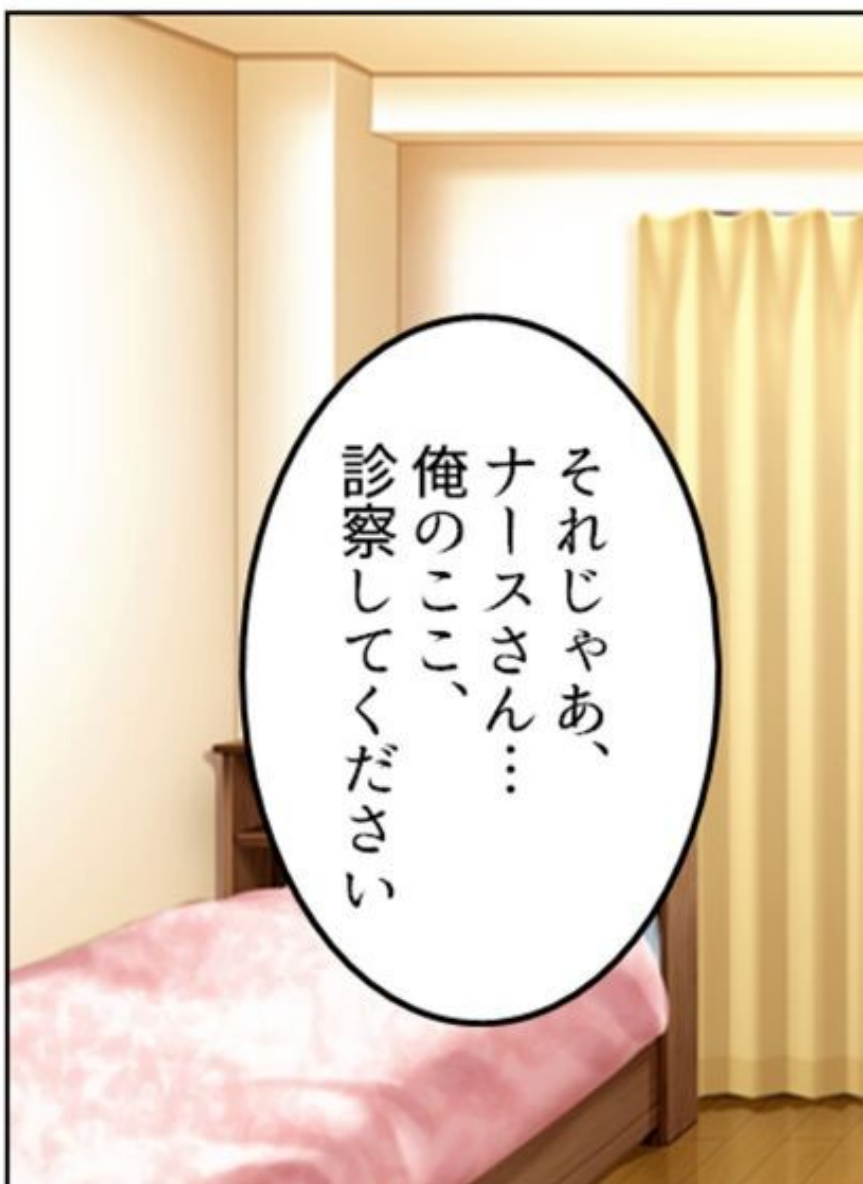
もう、イジワル…



イヤだったら
断るはずでしょう？
淫乱ナースさん？



うふふ、こんな
腫らしちゃったのね？



それじゃあ、
ナースさん…
俺のここ、
診察してください

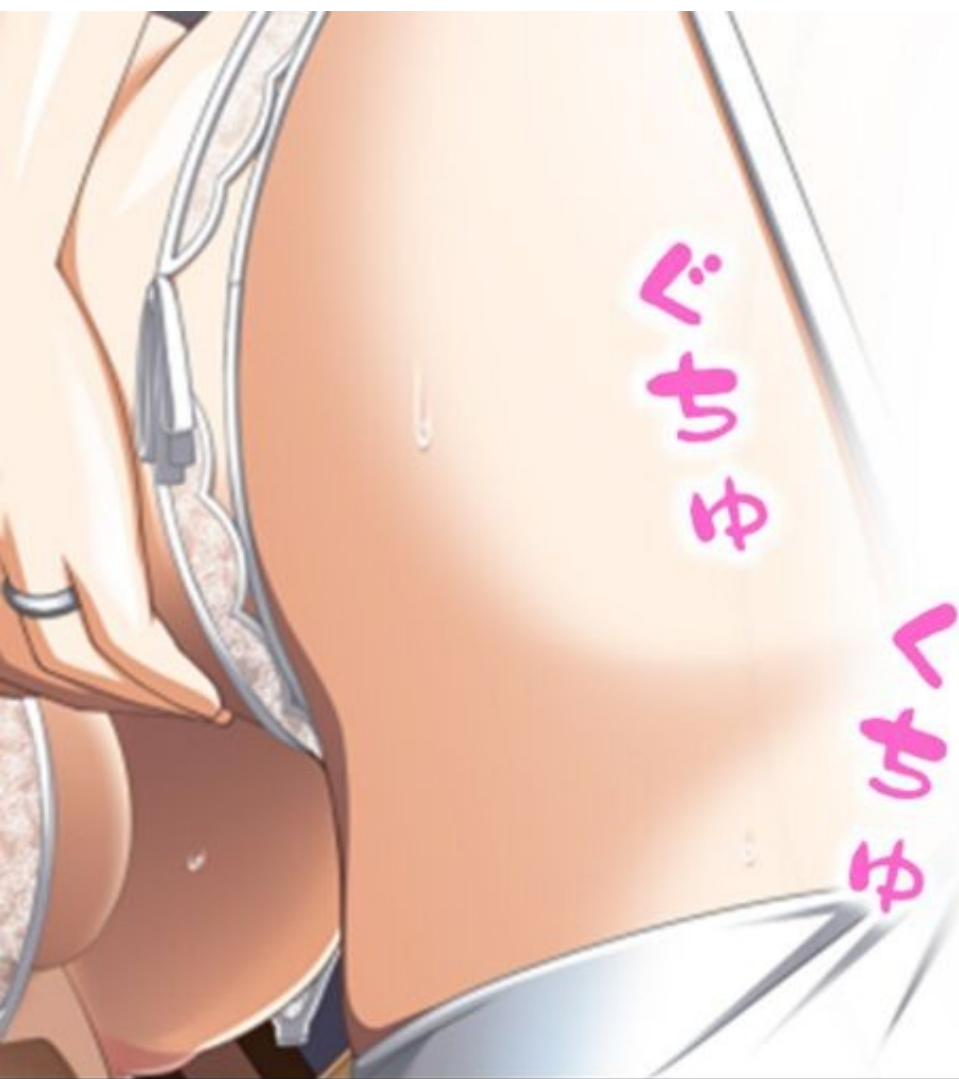








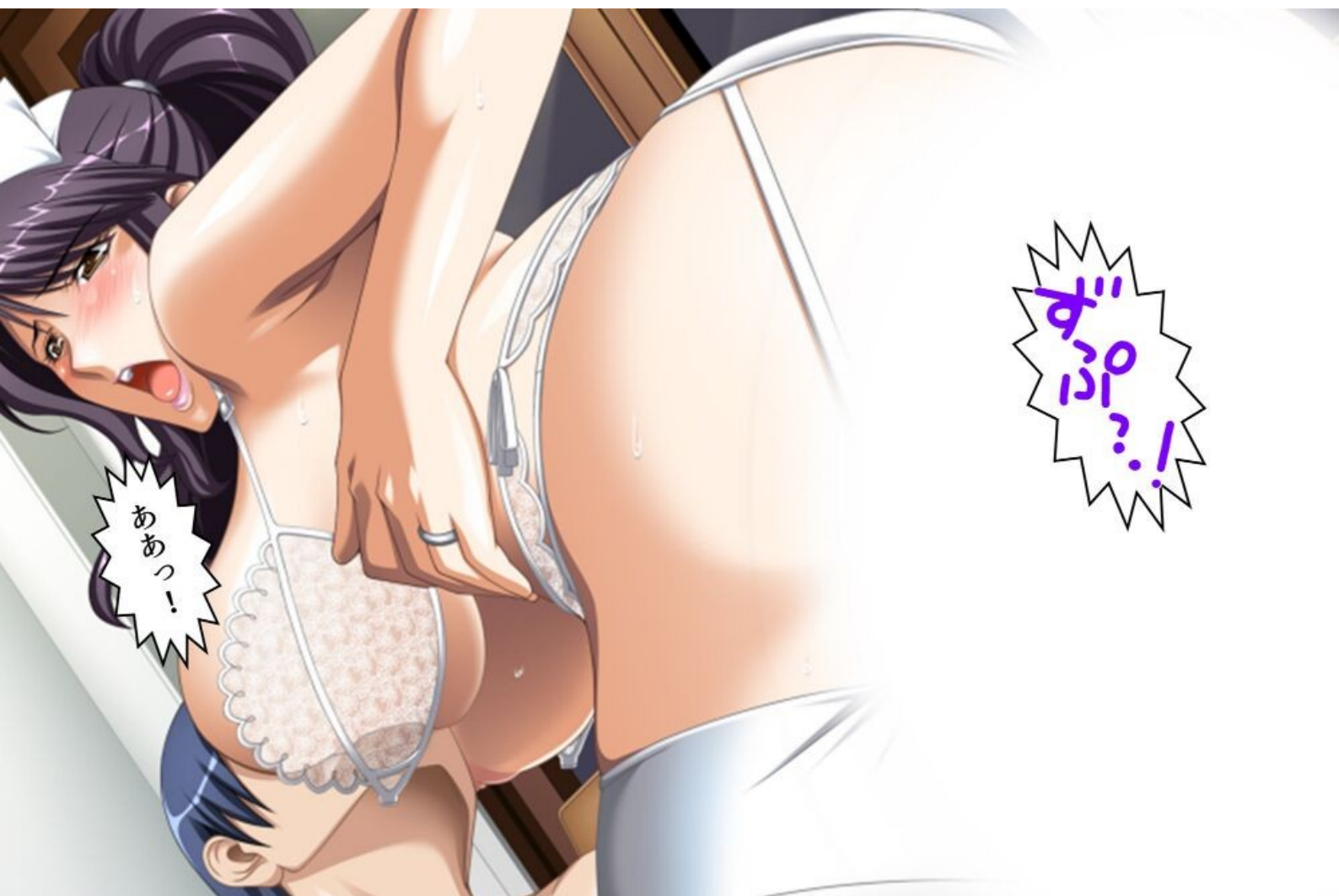


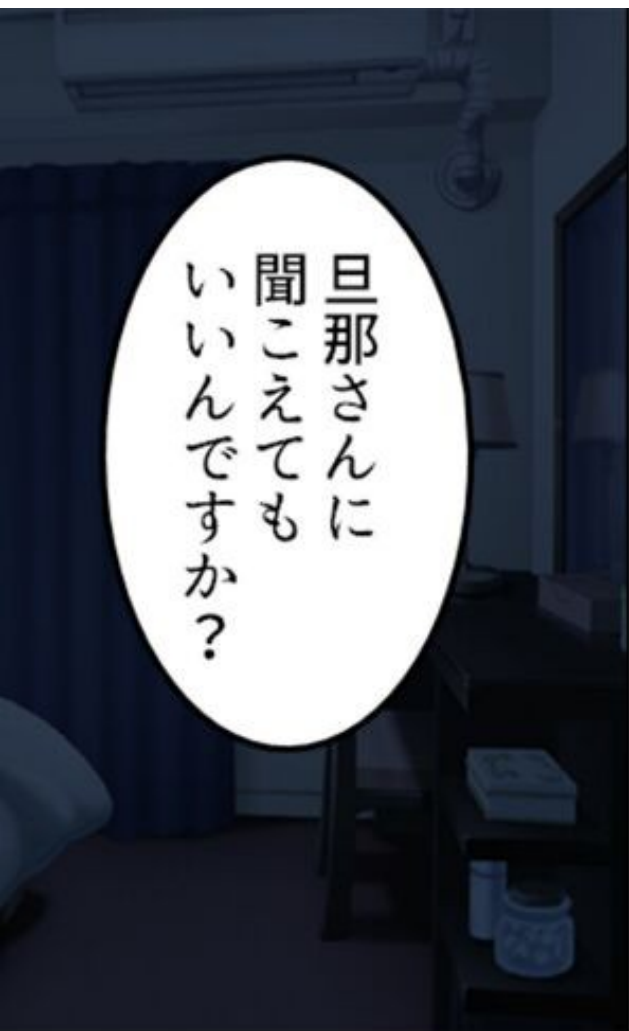


愛液が
さつきより
ぐちゅぐちゅ
いってますね…



これなら、
もう入れても
いいですよ？







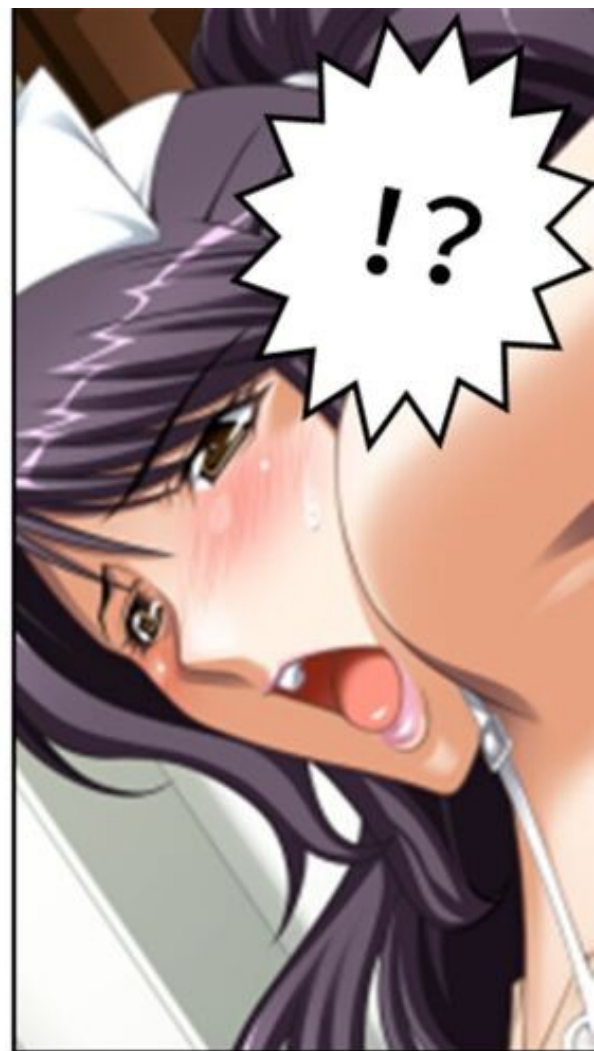
ふふ、
じゃあこっちも
激しくしますね



うん...



ああんっ！
ダメえ...！







だが：色気のある声と、
目の前で揺れる胸が：
俺の理性を
簡単に奪っていく

ああ、
准一くん……！
准一くん……！



俺も栄子さんも、
互いの体を貪りつくす

じゅ
ぷ

ぐ
さ
ゆ

ず
ぱ
っ



出しますよ
栄子さん！



!!
!!
!!
!!
!!



いつまでも、
いつまでも…

あっ…
ああっ…!!

完